

成 城 大 学
図 書 館 年 報

第 1 8 号
(2 0 1 6)

2 0 1 6 年 度

図 書 館 業 務 報 告

目 次

はじめに（図書館長）	3
I 概況	
1 2016年度の図書館業務	
（1）図書館業務の概況	5
（2）情報管理課	10
（3）情報サービス課	13
（4）資料選定委員会	15
（5）システム委員会	16
（6）企画広報委員会	17
（7）図書館活用法実施委員会	19
（8）図書館ガイダンス委員会	20
（9）コーナー化検討ワーキンググループ	22
（10）SNS検討ワーキンググループ	23
2 図書館職員の研修	24
3 図書館相互利用（五大学・世田谷6大学）	
（1）五大学図書館懇談会	25
（2）世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会	26
（3）四大学図書館相互利用実績	27
（4）世田谷6大学図書館相互利用実績	28
II 2016年度の委員会報告	
1 図書館委員会報告	30
2 運営会報告	32
3 課長・課長補佐会報告	34
III 2016年度の図書館年次統計	
1 現況	
（1）利用状況	36
（2）所蔵資料数	36
（3）電子情報資源種類数	37
（4）リポジトリ登録件数	37
（5）雑誌所蔵種類数	37
（6）継続受入雑誌種類数	37
（7）AV・マイクロ累積タイトル数	37
2 受入報告	
（1）図書受入報告	38
（2）雑誌受入報告	39
（3）マイクロ・AV資料受入報告	40

(4) 学習図書年度別受入一覧	4 1
3 整理業務統計	
(1) 図書整理冊数	4 2
(2) 修士論文整理冊数	4 2
(3) 博士論文整理冊数	4 2
(4) AV・マイクロ点数	4 2
4 運用業務統計	
(1) 入館者統計	4 3
(2) 月別図書貸出統計	4 4
(3) 分野別貸出図書統計	4 5
(4) ベストリーダー	4 6
(5) 閉架書庫内図書月別利用統計	4 7
(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計	4 7
(7) 貸倉庫預入資料利用統計	4 8
(8) 研究室別貸出図書統計	4 8
(9) 研究室別貸出雑誌統計	4 9
(10) 施設利用統計	5 0
(11) 貴重書室利用統計	5 0
(12) 3号館雑誌室・書庫利用統計	5 1
(13) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計	5 2
5 参考業務統計	
図書館間相互協力	5 3
6 AV資料等運用業務統計	
(1) AV・マイクロ資料利用統計	5 4
(2) AVホール利用統計	5 5
(3) AVゾーン利用者別統計	5 5
(4) マイクロ資料利用者別統計	5 5
(5) 保守点検等	5 5
7 図書館機械化の経緯と現状	
(1) 図書館システム導入の経緯	5 6
(2) 現状	5 7
8 図書館施設概要	
IV 組織	
1 組織図	5 9
歴代図書館長	6 0
略史	6 0

はじめに

図書館長 山本輝之

2016年度の成城大学図書館の活動としては、図書館サービスの充実と多様化の促進を図ったことをあげなければならない。その具体的内容としては、大学院生と学部生を対象として、ILL料金の一部の無料化を開始したこと、利用者の利便性を考慮して、1階に、「文庫新書コーナー」と「キャリアコーナー」を、2階には、「シラバスコーナー」を新たに設置したこと、図書館からの情報発信として、7月からTwitterとFacebookの試験運用を開始し後期からは本格的な運用を行ったことなどである。また、学外向けサービスとしては、文献複写に関するポリシーの一部緩和を図ったこと、前年度に引き続き、世田谷区民への図書館利用制度を実施したこと、夏季休暇期間中の受験生に対する図書館利用、春季休講期間中の本学合格者に対する図書館利用も実施したことをあげることができる。さらに、各種イベントも開催した。その中で、特記すべきことは、ライブラリー・サポーターを中心にビブリオバトルを行ったことである。5月の第1回目は、ライブラリー・サポーターだけによるものであったが、11月に開催した2回目は、全学向けに開催したものであった。いずれも大変好評であり、ライブラリー・サポーターからは、今後は他大学との対抗バトルなども行いたいなどの意見が出された。また、学部3、4年生を対象とした地下3階書庫入庫ガイダンス、キャリアセンターと連携した就職活動向けの日本経済新聞の読み方ガイダンス、図書館職員によるパソコン講座なども開催した。その他、SEIJO放課後シアター（上映会）を、3回開催した。また、各種展示も行った。直木賞を受賞した本学卒業生萩原浩氏の記念展示、亀井孝旧蔵古活字版コレクションの展示、文学研究科創設50周年記念「絵と文字の交響—日本の書物の世界—」展と「成城学園に咲く萬葉の花々」展との同時開催等々である。

次に、学内他部署との連携・協力活動としては、ライブラリー・サポーターによるオープンキャンパスや父母懇談会の際の館内ツアーを実施した。また、ピアチューター制度の導入に向け、教育イノベーションセンター、教務部、図書館の3部局で打ち合わせを開始し、職員向けの事前研修会を開催した。

また、学外組織との連携・協力活動としては、私立大学図書館協会東地区部会の次期役員校として、各種会議や研修会への出席、委員会委員の選出などを行った。また、2015年度に五大学図書館懇談会の幹事校を務めた際、四大学図書館相互利用における文献複写に関する申し合

わせに、甲南大学を加える件が話題となったため、各校との調整を行い、5月1日より新たな申し合わせによる運用を開始した。

その他の特記事項としては、6年計画の4年目であるナトルプ文庫の脱酸処理を行ったこと、メディアネットワークセンターによる学内教育用パソコン関係の更新に伴い、館内と3号館雑誌室備え付けの学習用パソコンとオンデマンドプリンタの更新・増設を行ったこと、地下1階にPC用ロッカーを設置したことなどをあげることができる。

以上のようなことを通じ、さらには、図書館職員の献身的なご尽力もあって、利用者の満足度は高く、大学の教育と研究を支える組織としての図書館の役割を果たすことができた様に思われる。他方、前年度の図書館年報で指摘した問題である、①洋雑誌価格の高騰に対する対応、②業務委託化への対応、③新収資料所蔵スペース確保のための貸倉庫への預け入れや書籍の除籍の問題などは、依然として課題として積み残しになってしまった。今後も、大学の教育と研究を支える組織としての図書館の役割を十分果たしていくためには、これらの問題に1つ1つ取り組み、解決していかなければならないと考えている。そのために、関係各位のさらなるご支援、ご協力をお願いする次第である。

I 概況

1 2016年度の図書館業務

(1) 図書館業務の概況

① 人事・組織

A. 人事

- 専任職員は11名であったが、事務長は情報管理課長と兼務であった。
- 情報サービス課課長補佐が4月1日付けで課長に昇任した。
- 前年度末の人事異動に伴い、4月に派遣職員1名の採用があった。
- 4月より庶務の臨時職員1名の採用があった。
- 情報管理課で育休を取得していた契約職員1名が4月に、また、専任職員1名が8月末にそれぞれ復職した。
- 7月に情報サービス課の臨時職員1名の退職があった。
- 10月1日付けの人事異動により、情報サービス課主任1名が国際センターへ、課員1名が中学校高等学校事務室へそれぞれ異動となった。また、研究機構事務室から主任1名が情報管理課へ異動となったほか、新人職員1名が情報管理課に着任した。
- 10月1日付けで館内の人事異動があり、情報管理課の課長補佐が情報サービス課レファレンス担当へ、和書整理担当が情報サービス課閲覧担当にそれぞれ異動となった。

B. 組織

- 6月に学長との懇談会があり、図書館の中期計画について説明を行った。

② 図書館サービスの充実と多様化の促進

A. 学外向けサービス

- 4月より文献複写に関するポリシーの一部緩和を図った。
- 世田谷区民への図書館利用制度を前年に引き続き実施した。
- 夏季休講期間中の受験生に対する図書館利用、並びに春季休講期間中の本学合格者に対する図書館利用をそれぞれ実施した。

B. 学内向けサービス

- 4月よりこれまで用紙とオンラインの2通りであったリクエストの受付をオンラインに一本化した。

- 4月より大学院生と学部生を対象に、I L L料金の一部無料化を開始した。
- 4月に「文庫新書コーナー」(1階)と「シラバスコーナー」(2階)を、また、6月に「キャリアコーナー」(1階)を設置した。
- 今年度より留学生用のコピーカードを国際センターに対して発行した。
- 7月より Twitter と Facebook の試験運用を開始し、後期から本格運用を行った。

C. イベント

- ライブラリー・サポーターと協働で、新入生向けの図書館ガイダンスを実施した。
- 5月にライブラリー・サポーターによるビブリオバトルを開催し、11月には全学向けの第2回ビブリオバトルを開催した。
- 前期中に学部の3、4年生を対象とした書庫入庫ガイダンスを実施した。
- 6月中の昼休みに図書館職員によるパソコン講座を1階アクティブラーニングエリアで開催した。
- 6月に三省堂書店(成城店)にて選書ツアーを開催した。
- SEIJ放課後シアター(上映会)を7月に2回、10月に1回開催した。
- 国際センターからの要請に基づき、留学生向けの図書館ガイダンスを実施した。
- キャリアセンターと連携し、就活生向けに日経新聞の読み方ガイダンスを7月、12月、2月にそれぞれ開催した。

D. 展示

- 4月に2016年1月に開催した第1回ビブリオバトルの関連資料展示を行った。
- 5月から7月に新ライブラリー・サポーターメンバーによるおすすめ本展示を行った。
- 7月に直木賞を受賞した本学卒業生荻原浩氏の記念展示を行った。
- 9月に「亀井孝旧蔵古活字版コレクション」の展示を行った。
- 10月に選書ツアー参加者による資料展示を行った。
- 12月に第2回ビブリオバトルの関連資料展示を行った。
- 12月に文学研究科創設50周年記念「絵と文字の交響ー日本の書物の世界ー」展と「成城学園に咲く萬葉の花々」展を同時開催した。
- 2月から年度末にかけて、「ちりめん本とその周辺」展を開催した。

E. その他

- 後期からのSNS (Twitter と Facebook) 開設に向け、検討ワーキンググループを立ち上げた。
- 前期中、8月の図書館システムリプレイスと学内ネットワークへの統合に向けた各種打ち合わせを定期的に行なった。

- ライブラリー・サポーターの活動支援として、事務室内の会議室や館長室を打ち合わせ場所として開放した。
- 学内ネットワークとの統合により、これまで本館事務室で行っていた学部資料室等への雑誌貸出処理作業を12月より3号館雑誌室に変更した。これにより、2015年10月から業務委託化した雑誌業務の全てが3号館雑誌室に集約された。
- 今年度設置した3コーナーのうち、文庫新書コーナーについては配架基準の見直しを行い、より魅力的なコーナーの実現を目指した。また、シラバスコーナーについては別置による混乱が生じているため、次年度からはOPACと連携した新たな情報提供方式に移行する方向で、調整を行った。

③資料の収集と廃棄・保存等

- 図書館委員会にて大学共通図書費の執行方法について検討を行い、今年度より新たなルールを適用した。
- 法人からのプレハブ書庫利用終了通知を受け、収蔵資料の移動や廃棄に関する作業計画を立案し、3月に移動作業を完了した。なお、重複資料等の廃棄作業は次年度以降の実施とした。
- 文学研究科（4号館4階）からの資料返却要請に対し、貸倉庫の利用や重複資料の一部除籍処理を含め対応を行った。
- ナトルプ文庫の脱酸処理（6年計画の4年目）を前年に引き続き実施した。
- 文芸学部の協力により、12月開催の展示に向けた貴重資料の電子化を行った。
- 後期からの「SEIJO×10」（三省堂書店）開店に伴い、和雑誌（週刊誌等）の納入業者を変更した。
- 洋雑誌のリニューアル（主にビックディール契約）に当たり、図書委員の先生方に協力を要請した。
- 間接経費にて以下のデータベースを購入した。
 - ・企業史料統合データベース（有価証券報告書）
 - ・Early English Books Online

④学外組織との連携・相互協力

- 私立大学図書館協会東地区部会の次期役員校として、関連する会議や研修会への出席と各種委員会委員の選出を行った。また、年度末には新旧役員校の事務引継ぎを行った。
- 駒澤大学と獨協大学から見学依頼があり対応した。
- 2015年度に五大学図書館懇談会の幹事校を務めた際、四大学図書館の相互利用における文献複写に関する申し合わせに甲南大学を加える件が話題となり継続課題となったため、引

き続き各校との調整を行い、5月1日から新たな申し合わせによる運用を開始した。

⑤学内他部署との連携・協力

- 4月のフレッシュマンキャンプに職員1名が参加した。
- 共通教育センターの協力により、本学の非常勤講師2名が図書館活用法の3コマを担当した。
次年度についても同様の方式とすることで、センターに協力を要請した。
- 補助金の申請に向け、教育イノベーションセンター主導のワーキンググループに職員1名が参加し、先進事例の視察等を行った。
- メディアネットワークセンターで対応していたオンデマンドプリンタの用紙管理について、今後、館内設置分については図書館で対応することになった。
- ライブラリー・サポーターがオープンキャンパスや父母懇談会の際に館内ツアーを実施した。
- 法人から図書館システムへの資料購入価格入力依頼があり、次年度からの作業実施に向け、作業手順などについて調査、検討を行った。
- 次年度の入学式前オリエンテーションに向け、ワーキンググループに職員1名が参加した。
- ピアチューター制度導入に向け、教育イノベーションセンター、教務部、図書館の3部局で打ち合わせを開始し、職員向けの事前研修会を開催した。また、先進事例を検証するため、関西の大学を視察した。
- 民俗学研究所から図書館システムへの乗り入れについて打診があり、今後継続して協議を行うことになった。

⑥建物・備品・営繕

- 2016年2～3月に実施した屋上防水工事と一部のトイレ改修工事について、4月に施工検査を実施した。
- 前年度から不具合を起こしていた空調システム（AC-3）について、改修を実施した。
- 経年使用で不具合が発生していた1階事務用複写機の更新を行った。
- 学園からの省エネに関する要請に基づき、空調稼働時間や温度設定、ファインコイルの一部停止などの措置を行った。
- 地下2階の改修に向け業者によるプレゼンを行い、次年度予算の申請を行った。
- 前年度末に実施されたトイレ改修の残工事について、今年度は見合わせとなった。
- 洋書の基本カードを廃棄し、事務室にあったカードケースを撤去した。
- 学長裁量経費で展示ケースを申請したが、不採択であった。
- 学長の下に校舎検討ワーキンググループが発足し、情報サービス課長が参加した。
- 間接経費にて購入したブックスキャナーを地下3階書庫に設置した。

- 学内で余剰となった会議用椅子を譲り受け、会議室の椅子を更新した。
- メディアネットワークセンターによる学内教育用パソコン関係の更新に伴い、館内と3号館雑誌室に備え付けの学習用パソコンとオンデマンドプリンタの更新、並びに増設を行った。
- 次年度予算で導入が決定したPCロッカーを3月末に先行で地下1階に設置した。
- 次年度予算で決定した地下1階閲覧椅子の更新を行った。
- 次年度予算で実施が決定した静寂ルームへの改修を行った。
- 3号館地下1階書庫の空気対流が思わしくないことから、通風ダクトを調整し風の流れを確保した。また、一部の資料にカビに似た症状がみられたため、対応を行った。
- 3号館地下1階書庫設置の除湿機から漏水があった。経年使用による劣化が原因のため機器の交換を手配した。
- 3号館雑誌室の天井空調に風よけのルーバーを設置した。
- 3号館雑誌室備付の利用者用コピー機に不具合があり、業者に修理を依頼した。
- 6月より管理課と館内設置のエレベーター3基について打ち合わせを行い、夏季休暇中に更新を行った。
- 学内ネットワークとの統合に向け、7月より新たな配線の敷設工事を開始し、夏季休暇中にネットワークの切替工事を実施した。これにより、図書館システムや図書館ホームページ等のサーバーもメディアネットワークセンターの仮想サーバーに移転し、館内におけるハード面の機器管理は個々のPCやプリンタのみとなった。
- 学内ネットワークとの統合に伴い、有料プロバイダとの独自契約を終了した。
- ネットワークの変更に伴う図書館ホームページやOPACのURL変更を行い、各方面に周知した。
- 図書館システムのリプレイス（バージョンアップ）に向け、業者との調整を行った。
- 図書館システムのリプレイスに伴い、館内と雑誌室のOPAC端末や事務用PC、プリンタの全てが入れ替えとなった。
- 事務用端末の入れ替えに伴い、雑誌室の事務用スペースでレイアウトの変更を行った。

⑦危機管理

- 7月に実施した防災訓練（ウォークラリー）に3号館雑誌室の委託スタッフが参加した。
- 9月の全学防災訓練に図書館地区隊として参加した。
- 洋書や外国雑誌で取引のあった書店の倒産を受け、事後処理を行った。
- 学内ネットワークへの統合に合わせて図書館ホームページのアドレスが変更されたが、12月に図書館の旧アドレスが不正使用されていることが分かったため、関係各部署や他大学等にも連絡の上、ホームページ上にお知らせを掲載した。

（２）情報管理課

① 人員と担当

情報管理課長を含めて専任職員 6 名、契約職員 5 名、臨時職員 4 名、派遣職員 1 名であったが、4 月初旬に契約職員 1 名が、また、8 月末に専任職員 1 名がいずれも育休から復帰した。また、9 月末に契約期間満了に伴い契約職員 1 名が退職した。10 月の人事異動により、研究機構事務室より主任 1 名の異動と新人職員 1 名の着任があった。同時に、館内の異動により課長補佐 1 名と和書整理担当者 1 名が情報サービス課へ異動した。

前期中の業務分担は和書の発注・受入 2 名、洋書の発注・受入 1 名（除籍と洋書整理を兼務）、雑誌業務のサポート 1 名（和書整理を兼務）、視聴覚資料関係 3 名（内 2 名は図書整理を兼務）、和書整理 6 名（内 1 名はリポジトリ登録を兼務、1 名は視聴覚資料を兼務）、洋書整理 3 名（内 1 名は洋書発注・受入、1 名は視聴覚資料関係を兼務）、装備 1 名（兼務によるサポートあり）であった。なお、電子資料や雑誌室の対応は課長が行ったほか、除籍に関する処理作業は庶務担当職員がサポートに加わった。

10 月に発注・受入と視聴覚資料の担当替えを行い、以降は 2017 年 4 月からの学部別受入担当者制の導入に向け、和書・洋書・雑誌の全てを担当できるよう発注・受入担当者として 4 名を配置した。このほかは視聴覚資料 2 名、和書整理 4 名、洋書整理 3 名（内 1 名は発注・受入を兼務）、装備 1 名（兼務によるサポートあり）であった。

なお、雑誌の日常業務については 2015 年 10 月より雑誌室にて業務委託となったため、本館の担当者は支払や契約情報に関するメンテナンス、次年度の契約更新や業者との調整、J U S T I C E の対応等を行った。

このほか、会計業務 1 名と消耗品等の管理を含む庶務 1 名、さらに日常的な庶務作業については複数の課員で分担した。また、今年度も情報管理課長が事務長を兼務したため、前期中の整理業務に関する実務的な統括は課長補佐が行った。10 月の異動で減員となった分については補充を行わず、業務の効率化で対応した。

② 図書の発注・受入・除籍業務

a. 発注、受入

受入冊数は、購入・寄贈・編入あわせて和書 8, 195 冊（内電子ブックは 225 冊）、洋書 3, 081 冊（内電子ブックは 135 冊）であった。

b. 除籍

除籍総数は 1, 403 冊（和書 235 冊、洋書 1, 168 冊）であり、蔵書点検による不明本や汚損本のほか、学部からの依頼による重複本が対象であった。

c. 寄贈

法学部の木畑洋一教授から欠号補充のための寄贈等があった。このほか、文芸学部の高名

康文教授からはオンライン辞書の寄贈があった。

③ 整理業務

a. 和書整理

整理冊数は、新規受入図書が8, 279冊、再整理が3, 768冊であった。一時的に作業を中断していた地下3階書庫の2門の再整理を再開した。このほか、散逸しているマニュアルやローカルルールを取りまとめ等を積極的に行った。

b. 洋書整理

整理冊数は、新規受入図書が2, 712冊、遡及473冊、再整理27冊であった。昨年に引き続き6年計画の4年目としてナトルプ文庫の脱酸処理(922冊)と同文庫の遡及作業(473冊)を行った。前年度より文芸学部と協力しながらジャポニズム関係資料の購入を進めた。

④ AV・マイクロ資料業務

a. 受入、除籍

新規受入点数は873点であり、主な資料は、CD173点、DVD375点、Blu-ray76点、マイクロ127点であった。なお、除籍作業は行わなかった。

b. 整理

新規整理点数は、映像資料623点、録音資料325点、電子資料132点、マイクロ資料163点であった。また、遡及はクラシックのCDを中心に929点であった。

c. その他

- 1) 映像資料の整理方針をN I Iの規則から2010年夏以前のローカルルールに戻した。それに伴い、整理マニュアルの修正も行った。
- 2) 請求記号に関するマニュアルについて、これまでの担当者による書き込み等の蓄積を反映させた形に改訂を行った。

⑤ 雑誌業務(雑誌室の管理を含む)

a. 発注・受入・整理

購入、編入あわせて1, 795冊を受入た。また、2, 435種の雑誌・紀要・新聞について受入作業を行った。図書や視聴覚資料と同様に図書館システムに所蔵登録を行い、バーコードラベルと持ち出し防止装置を装着後、情報サービス課や研究室・資料室へ提供した。

b. 除籍

除籍については資産扱い30冊を処理した。電子化が確認された紀要等については、学部の了解を得ながら除籍作業を行った。

c. 製本

図書館と学部あわせて1,645冊の製本発注受入処理を行った。

d. 文献複写（学外からの受付対応）

処理件数は644件、枚数は5,082枚であった。

e. 3号館雑誌室、地下1階書庫管理

雑誌室利用者へのクイックレファレンスサービス、地下書庫からの出納、地下書庫の管理（温湿度管理、環境調査等）を行った。また、システムリプレイスによる事務用端末の更新に合わせて、事務スペースのレイアウト変更を行った。

f. その他

委託化に伴い郵便業務が雑誌室業務となった。各業務については随時、委託リーダーと打ち合わせを行ったほか、月1回開催の定例会でも情報共有を行った。

⑥ 庶務業務

日常的な書類の配付、回覧、各種学内提出書類の作成、文部科学省や日本図書館協会からの調査等対外書類・報告書の作成を行った。また、学園資料の収集と保管、保存不要となった資料の廃棄作業等を日常的に行った。

⑦ 会計業務

支払伝票の起票や各種帳簿の管理、書類内容のチェック、前渡金の現金管理、予算・決算書の作成、伝票整理、固定資産台帳の管理、原議書の起案等を行った。

また、今年度からILLの一部料金無料化に伴う伝票処理が新たに追加された。さらに夏季に実施した図書館システムリプレイスにより、連動する会計システムにも変更が生じたため、システムに詳しい職員のサポートを得ながら対応を行った。さらに法人で導入した会計システムについても、資料予算以外について利用を開始した。

⑧ システム管理業務

学内ネットワークとの統合、並びに図書館システムのリプレイスに向け、業者や各担当者との打ち合わせを重ねた。また、図書館ホームページのサーバ移行やSNSの導入についても対応を行った。

⑨ 設備機器保守管理業務

a. 設備機器の保守管理を行った。

b. 各種設備・機器類の修理依頼を行った。

c. 3号館書庫の温湿度調査を継続し、風の対流状況や温湿度の設定について、管理課とも打ち合わせを行った。

(3) 情報サービス課

① 人員と構成

4月1日付で課長が初等学校に異動となり、課長補佐が課長に昇任した。その結果、課長のほか参考係2名・閲覧係1名の計4名の専任職員、その他契約職員5名、派遣職員2名で業務を開始した。その後10月1日付で専任職員2名が国際センターおよび中学校高等学校へ異動となり、代わって情報管理課から専任職員2名（内1名は課長補佐）が着任した。また、3月末日で契約職員が1名退職した。

臨時職員は受付業務を2名が交替で行うほかに配架係として2名が週3～4日の交替勤務を行なったが、配架係の1名が7月に退職した。

夜間の時間帯は業務委託職員が受付1名・閲覧係2名・AV係1名で対応した。

② 各カウンター業務

A. メインカウンター

a. 所属校では大学院生である交換留学生のコピーカード利用について

大学院生に準じて取り扱うこととし、国際センターにコピーカードを預けて管理してもらうことにした。

b. 世田谷区民利用について

3月1日～15日に申し込みを受け付け、4月より年度末まで3冊2週間の図書貸出を含む図書館利用を可能とした。利用登録者は27名であった。

c. 蔵書点検について

2月1日～3月9日に、1階～3階、地下2階、旧館1、3、5、6層の約28万冊について蔵書点検を実施した。

B. レファレンスカウンター

a. 各種ガイダンスについて

4月恒例の新入生ガイダンスでは、大学院新入生へのガイダンスを担当した。教員からの要請による「ゼミ向けガイダンス」を14回行い、受講者は175名であった。

また、今年度からアクティブラーニングエリアを会場にガイダンスを行うことが可能となった。

b. 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用件数は77件であった。

c. 蔵書点検について

参考図書コーナーおよび年鑑白書コーナーに配架されているすべての資料の蔵書点検を行った。期間は5日間であった。

C. AVカウンター

a. 利用者が、指定された種別の座席ではなく同じ番号の異なる種別の座席を利用してしまふことの対策として、10月15日よりブース・個室・カプセルの区分を廃止し、全ての座席を通し番号で管理することとした。

② 祝日開館について

祝日授業のため、4月29日（金）、7月18日（月）、9月22日（木）、10月10日（月）、11月23日（水）、12月23日（金）に通常開館した。

③ 臨時開館について

学生の定期試験対応と卒業論文作成のために、7月17日（日）、7月24日（日）、12月11日（日）、1月6日（日）、1月14日（土）、1月15日（日）、1月22日（日）に臨時開館（9：00～17：00）した。

④ 設備の改修等について

2017年度予算の早期執行により、地下1階閲覧席全48席の椅子の更新、地下1階に新PCロッカー（48台収納）の設置、並びに1階旧PCロッカーの新PC（MNCによる更新）対応改造を実施し、4月開講前に利用可能とした。また、2、3階PCルームの静寂ルームへの改修は3月より開始した。

(4) 資料選定委員会

① 委員構成

2016年 4月～2016年9月：委員長1名、委員5名

2016年10月～2017年3月：委員長1名、委員6名

② 任期

2016年4月1日～2017年3月31日

③ 委員会の開催

定例で毎週火曜日の開催とし、2016年4月～2016年9月は午前9時10分より、2016年10月～2017年3月は午前9時35分より計30回開催した。

④ 活動内容

従来同様に、出版案内・出版目録・新聞書評などを用いて、学生の利用を想定した資料、貴重書の選定、および利用者からの購入希望（リクエスト）資料の選定を行った。

購入希望（リクエスト）においては、2016年度より、申請方法をOPACのMy Libraryからのみに、制度の趣旨を「学習・研究の支援」とする新たな運用方法を開始した。

委員会での選定では、制度の趣旨に加え購入不可対象となる資料を明文化したことで、以前よりも購入可否の決定に一貫性が出た。購入可否の判断に迷う事例もあったが、メールで利用者と連絡を取り合いながら対応することでサービスの質を保つよう心掛けた。

学生や教職員からの購入希望および館員からの推薦による購入希望を含めた今年度の承認数は以下の通りである。

和書（学生 74 ・ 大学院生 42 ・ 教職員 19 ）

洋書（学生 6 ・ 大学院生 48 ・ 教職員 0 ）

AV資料（学生 16 ・ 大学院生 0 ・ 教職員 0 ）

*単位は資料により異なる（冊・枚・本）

(5) システム委員会

① 委員構成

委員長 1 名、委員 3 名

② 任期

2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

③ 委員会の開催

2016 年度は図書館システムのバージョンアップ、機器リプレイス、ネットワーク変更など、実際に作業をすることが主となったため、作業スケジュールの調整、作業確認等について、月 1 回のペースで業者（NEC）との打ち合わせを数回、そのほかにMNCなど関連部署との打ち合わせを数回行った。

④ 活動内容

2016 年度のシステム委員会では、システムの更新を中心に以下の作業を行った。

- ・図書館システムシステムの更新（E-Cats Library を v.4 から v.5 にバージョンアップ）
- ・図書館システム関連機器のリプレイス
 - ーサーバー 3 台の仮想化（MNC の仮想サーバー上に構築）
 - ーPC 端末、プリンターなどの機器の入れ替え
- ・ネットワークの切り替え
 - ー大学外部の商用ネットワークから大学のネットワークに変更（大学ネットワークに復帰）
 - ー図書館システムのサーバー 3 台とWebサーバーは大学のドメインで運用
 - ー図書館内ネットワークの再構成（スイッチ設置、配線張替え、WiFi ルータ設置）
- ・Webサーバーの更新
 - ー仮想化（MNC の仮想サーバー上に構築）、OPACサーバーとの分離

※ネットワーク切り替え、システム更新、Webサーバー更新は、8 月 12 日から 8 月 22 日までシステムを停止して実施した。8 月 22 日にシステムの最終調整を行い、実質的には 23 日にサービスを再開した。

（６）企画広報委員会

①委員構成

委員長１名、副委員長１名、委員６名（２０１６年５月２７日以降、委員５名）

②任期

２０１６年４月１日～２０１７年３月３１日

③委員会の開催

２０１６年度は５回開催した。このほか、行事の企画および印刷発行物の製作状況などに応じて、短時間の打ち合わせを何度か行った。

④ 活動内容

A. 各種刊行物の編集・発行・配布

「図書館暦」

〈各号の内容〉

第１３０号 ２０１６年７月発行（Ａ５版、１６頁、３，０００部）

新設コーナー紹介

ビブリオバトルのススメ

雨だからお部屋でゆっくり読む先生のオススメ本

そうだ！上映会へ行こう！

「あなたの選ぶ１００冊」選書ツアー報告！

Library Information

第１３１号 ２０１６年１２月発行（Ａ５版、１２頁、３，０００部）

大学構内にある萬葉植物を探しに行こう！

映画「サクラ花」上映会報告

図書館で映画を見よう！

お花にちなんで・・・図書館にはこんな映画・本もあります♪

まもなく百周年 成城大学図書館特集

B. 上映会『SEIJO放課後シアター』開催

〈各回の内容〉

第１回 ７月７日（木）

小河原あや先生推薦作品：『パリのランデヴー』 監督：エリック・ロメール

上映後小河原先生による解説

第２回 ７月１２日（火）

臼井経済学部長推薦作品：『刑事ジョンブック 目撃者』 監督：ピーター・ウィアー

第３回 １０月２６日（水）

本学卒業生監督作品：『サクラ花』 監督：松村克弥

上映後監督、出演俳優によるトークショー開催

C. 選書ツアー

6月2日(木)～6月3日(金)の2日間三省堂成城店で実施した。

選書ツアー参加者 10名

購入図書 82冊

展示期間 10月3日(月)～10月28日(金)

D. オープンキャンパス期間中の展示(7月16日(土)、8月5日(金)～7日(日))

上記期間中、下記の展示を行った。

a. オープンキャンパス特別展示 貴重書「ちりめん本」展示

b. SEIJO紹介コーナー、受験生応援コーナー、大学案内や学部紹介のコーナーと、入試案内、過去問を展示した。

E. 文化祭一般公開(11月2日(水)、3日(木))

ワークショップ:「Libo君の塗り絵と組み立て」を行い、約30人が参加した。

展示: 貴重書「ちりめん本」展示

F. 展示

a. 第1回ビブリオバトル関連本などの展示を、4月4日(月)～4月29日(金)に1階メインカウンター前で行った。

b. 本学経済学部卒業生である荻原浩さんが、第155回直木賞を受賞されたことを受け、記念展示を7月22日(金)～10月30日(金)に1階メインカウンター前で行った。

G. ビブリオバトルを開催

11月24日(木)に図書館企画として、第2回ビブリオバトルを開催した。参加者は40名弱で、司会者2名と発表者4名はいずれもライブラリー・サポーターであった。

H. ライブラリー・サポーター「以下、LS」の活動のサポート

〈主なLSの活動〉

a. 入学ガイダンスにおいてガイダンスの冒頭の説明を行い、各ツアーの補助も行った。これがきっかけとなりLS新規メンバー獲得につながった。

b. 5月20日(木)～7月29日(金)「新メンバーのおすすめ本」展示を行った。

c. オープンキャンパス4日間と9月17日(土)父母懇談会にLSメンバーによる館内ツアーを行った。

d. 11月2日(水)～12月1日(木)に企画展「日本列島本の旅」を行った。

本年度はLSメンバーが25名に増加したため、自主的に活動してもらうよう方針を転換した。責任を持たせるべく企画書を提出させ、活動を完結する様に促した。

以 上

（７）図書館活用法実施委員会

① 委員構成

委員長１名、委員４名

② 任期

２０１６年４月～２０１７年３月

③ 委員会の開催

２０１６年４月から１２月まで計１８回開催した。

④ 活動内容

今年度で開講４年目となる「図書館活用法」は、昨年度に引き続き前期授業期間の水曜３時限目に８２１教室にて授業を実施した。文献検索事例演習では、データベースの紹介だけでなく、受講者が実際にデータベースを使って検索することに重きを置き、特に新聞記事データベースの回は検索を中心に行った。

授業評価アンケートでは、基本的な使い方がわかったので利用したいなどのコメントも多く、低学年の受講者にとって一定の効果があるように感じた。また、教員が担当した「論文」や「レポートの作り方」の回は特に好評であった。

次年度に向けた授業内容については、本学での契約データベースの種類数の増加と多様化が進んでいるため、データベースの授業回数を増やす方向で検討を行った。

<各回の講義内容>

1. ガイダンス、大学図書館とは（４/１３）
2. 成城大学図書館について（４/２０）
3. なぜ図書館で調べるのか（４/２７）
4. 検索概論（どうやってさがすのか）（５/１１）
5. 図書検索①（OPACを中心に）（５/１８）
6. 図書検索②（館内演習）（５/２５）
7. 雑誌論文検索①（OPACを中心に）（６/１）
8. 雑誌論文検索②（館内演習）（６/８）
9. 学内の教育・研究機関（民俗学研究所について）（６/１５）
10. レポートの書き方①（概論）（６/１８）
11. レポートの書き方②（各論）（６/２２）
12. 文献検索事例演習①（６/２９）
13. 文献検索事例演習②（７/６）
14. 文献検索事例演習③（７/１３）
15. 総合演習（７/２０）

(8) 図書館ガイダンス委員会

① 委員構成

委員長1名、委員4名（10月に委員長と委員の交代があった）

② 任期

2016年5月1日～2017年4月30日

③ 委員会の開催

2016年度は8回開催した。そのほか、担当者間で各種ガイダンスの打ち合わせを行った。

④ 活動内容

各種ガイダンスの実施

a. Officeの使い方ガイダンス

昨年度のWordガイダンスが好評であったことから、今年度はExcelとPowerPointの基本的な使い方を紹介するガイダンスも追加して実施した。

<Wordガイダンス>

日 時：6月13日（月）～15日（水）

12時20分～12時50分

場 所：アクティブラーニングエリア

参加者：16名（3日間合計）

<Excelガイダンス>

日 時：6月16日（木）～17日（金）、20日（月）

12時20分～12時50分

場 所：アクティブラーニングエリア

参加者：14名（3日間合計）

<PowerPoint ガイダンス>

日 時：6月21日（火）～23日（木）

12時20分～12時50分

場 所：アクティブラーニングエリア

参加者：17名（3日間合計）

b. 地下3階入庫ガイダンス

昨年度に引き続き、卒業論文作成予定者の地下3階入庫ガイダンスを実施した。

ガイダンスの詳細は下記の通り。

日 時：5月30日（月）～6月3日（金）

12時20分～12時40分

場 所：地下3階書庫

参加者：74名（5日間合計）

*参加人数には、期間中にゼミなどで個別にガイダンスを行った人数も含む。

上記期間以降も随時実施した。

c. 新聞の読み方セミナー

講師に日経メディアプロモーション株式会社の圓尾弘和氏を招き、日経新聞の読み方ガイダンスを7月、12月、2月に行った。就職活動支援的な意味合いを持たせ、7月はインターンシップの準備編、12月は就活のための基礎的な新聞の読み方、2月はキャリアセンターのイベントに合わせて業界別の新聞の読み方ガイダンスを行った。

ガイダンスの詳細は下記のとおり。

<7月開催：インターンシップ編>

日時：7月12日（火）・13日（水） 4限、6限

場所：アクティブラーニングエリア

参加者：18名（2日間4回合計）

<12月開催：基礎編>

日時：12月8日（金）12時20分～12時50分

場所：アクティブラーニングエリア

参加者：19名

<2月開催：業界編>

・金融

日時：2月13日（月）14時40分～15時20分

場所：312教室

・食品

日時：2月15日（水）14時40分～15時20分

場所：312教室

・総合商社

日時：2月21日（火）14時40分～15時20分

場所：312教室

参加者：87名（3日間合計）

d. 新入生ガイダンス（2015年度の委員が実施）

2016年4月の新入生ガイダンスは、AVホールでライブラリー・サポーターによる図書館の概要説明のあと、職員による館内ツアーで主要施設（各カウンター、AVゾーン、AL施設）を紹介し、最後にスマートフォンを使った情報検索演習を行った。

ガイダンス終了後には、学生と共同で企画・作成したトートバッグを記念品として渡した。

今年度も全学の入学式前オリエンテーションにて、図書館紹介ビデオを上映した。

次年度の検討資料とするために、ガイダンス全般についてのアンケートを実施した。

e. その他

大学院進学者へのガイダンス（4月）、留学生向けガイダンス（4・9月）を実施した。

(9) コーナー化検討ワーキンググループ

① 委員構成

委員 3 名

② 任期

2016年4月1日～2017年3月31日

③ 委員会の開催

2016年度は12回開催した。

④ 活動内容

図書館の利便性の向上を図るため、以下の3つのコーナーに関する設置・運用について検討し、各コーナーを新設した。

A. 文庫コーナー・新書コーナー

開架にある文庫・新書のうち、蔵書数や利用頻度の多い出版者の資料を配架するコーナー。広く教養を身に着けて欲しいという観点から、特定の分野に偏らず資料が配架されるよう配慮した。文庫・新書は携帯性が高く、貸出されやすい資料と考えられるため、多くの利用者の目に触れる様、2階に上がる動線の近くである1階の階段横に設置した。なお、2階に設置されていた岩波文庫・岩波新書・文庫クセジュの書架は本コーナーに統合された。

B. キャリアコーナー

学生の就職支援を中心に、キャリア形成において役立つ資料を配架するコーナー。キャリア支援に関する資料は、以前から購入リクエストがキャリア支援に関わる部局の職員から出されており、充実したものになっていたが、一般書架に分散して配架されていた。これらの資料を集中的に配架し一覧性を高めることで、利便性の向上を目指した。本コーナーの特徴としては、図書資料だけでなく、雑誌や視聴覚資料、データベースといった様々な種別の資料を一か所の書架で提示している点が挙げられる。こちらも、利用者の動線と重なりやすい、1階カウンター前に書架を設置した。

C. シラバスコーナー

シラバスに掲載されている「参考文献」の図書資料（以下、「シラバス参考図書」）を配架するコーナー。本館では、シラバス参考図書を積極的に、購入をする方針を採っており、これらの資料は授業の課題などで利用されることもあるため、利便性の向上を目的として集中配架を行った。配架場所は前述の岩波文庫・岩波新書・文庫クセジュがあった2階の書架を利用し、書架の規模などに鑑みて、対象資料を請求記号順に配架した。近接領域の資料が並ぶという利点もあったが、特定の授業のシラバス参考図書を一覧することができなかった。一方で、これらの資料は複本の購入ではなく、一般書架から抜き出してきたため、授業やシラバスとは関係なく利用したい利用者にとってはアクセシビリティが低下するなどの課題が残る結果となった。

(10) SNS検討ワーキンググループ

① 委員構成

委員4名

② 任期

2016年4月1日～2017年3月31日

③ 委員会の開催

2016年度は3回開催した。

④ 活動内容

本ワーキンググループは、図書館の各種情報を利用者に届けるための手段としてSNSを活用できないかを検討するために発足した。まずは、すでにSNSを利用している他部局に利用状況や開始にあたっての注意点などの情報をリサーチすることから開始した。

その結果、どの部局も投稿に関するガイドラインを作成していることが判明したため、図書館に合った投稿に関するガイドラインを作成することにした。また検討の結果、図書館が使用するSNSとしてTwitterとFacebookが妥当と判断し、この二つに絞り最初は非公開で投稿を開始し、2016年後期より公開することが確認され運用を開始した。

2 図書館職員の研修

(1) 学外研修

年 月 日	研修主催団体・研修場所	研修会名
2016年 6月 6日 ～ 6月10日	主催:東京大学 場所:東洋文化研究所	漢籍整理長期研修
2016年 6月10日	東京理科大学	私立大学図書館協会東地区部会研究講演会
2016年 6月13日	共愛学園前橋国際大学	教育再生加速プログラム (AP) 先行事例視察
2016年 6月14日	主催:サンメディア 場所:日本橋三井ホール	学術ソリューションセミナー2016
2016年 6月17日	主催:日経印刷 場所:グラフィックガーデン	「出版の世界」セミナー
2016年 9月 5日 ～ 9月 9日	主催:東京大学 場所:東洋文庫	漢籍整理長期研修
2016年 9月 7日 ～ 9月 8日	一橋大学一橋講堂	2016年度JUSTICE版元説明会
2016年 9月13日 ～ 9月14日	主催者:文化庁 場所:東京大学	平成28年度図書館等職員著作権実務講習会
2016年 11月8日 ～ 11月10日	図書館総合展運営委員会 主催:パシフィコ横浜	第18回図書館総合展
2016年 11月16日 ～ 11月18日	主催:一橋社会科学古典資料センター 場所:一橋大学	西洋社会科学古典資料講習会
2016年 11月29日 ～ 12月 2日	国立情報学研究所	平成28年度大学図書館職員短期研修
2016年 12月10日	立正大学	ラーニングコモンズセミナー
2017年 2月15日	一橋大学	シンポジウム「本の分析学」
2017年 3月 1日	一橋大学一橋講堂	2016年度JUSTICE総会

(2) 研究分科会

2016年 4月 ～ 2017年 3月	私立大学図書館協会 東地区部会研究部	和漢古典籍研究分科会
---------------------	-----------------------	------------

(3) 館内研修

2016年 9月30日	図書館	防災訓練
-------------	-----	------

(4) セルフラーニング研修

2016年 10月	国立国会図書館	遠隔研修 「資料保存の基本的な考え方」「図書館と著作権」
-----------	---------	---------------------------------

(5) 学内研修

S D 研修（学園の現状、A E D 講習、入試の動向について、タイムマネジメント研修ほか）、階層別研修、メンタルヘルス研修ほかに職員が参加した。

(6) 出張

2016年 6月10日	東京理科大学	2016年度私立大学図書館協会 東地区部会総会・講演会
2016年 8月25日 ～ 8月26日	上智大学	2016年度私立大学図書館協会 総会・研究大会
2016年 11月11日	学習院大学	五大学図書館懇談会
2016年 11月22日	東京都市大学	世田谷6大学コンソーシアム

3 図書館相互利用（五大学・世田谷6大学）

（1）五大学図書館懇談会

2016年度第41回の懇談会は学習院大学を幹事校として開催された。図書館活動の相互協力と五大学間の情報共有を中心に、館長・管理職・担当者の3グループに分かれ、各図書館が抱えている問題について意見交換を行った。

2016年度五大学図書館懇談会（第41回）

日 時：2016年11月11日（月）14：30～19：30

会 場：学習院大学 学習院創立百周年記念会館 第1会議室～第4会議室

出席者：成城大学からは図書館長ほか5名が参加

A. 全体会

五大学より各館の近況報告と共に、新たな取り組みや課題についての報告が行われた。

B. グループ討議

グループごとに各テーマについて討議を行い、最後に全体で情報共有が行われた。

a. 館長グループ

図書館の学修支援について／障害者支援・危機管理について／データベース契約について／留学生の図書館利用促進について

以上4点について意見交換が行われた。

b. 管理職グループ

図書館職員の体制について／除籍について／図書館の広報活動について／図書費について／継続雑誌の廃止の手順について

以上5点について意見交換が行われた。

c. 実務担当者グループ

蔵書点検の方法について／図書館システムと書店発注受入システムとの連携について／電子書籍の取り扱いについて／オンラインレファレンスについて／問題利用者の対応について／図書館の機能別エリアについて

以上6点について意見交換が行われた。

C. 図書館見学

D. 意見交換会

(2) 世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会

第16回世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会

日 時：2016年11月22日（火）14：30～19：20

会 場：東京都市大学 世田谷キャンパス図書館 地下1階メディア学習室ほか

出席者：成城大学からは図書館長ほか5名が参加

A. 専門委員会

a. 報告事項

前年度の利用実績や利用証の発行数、横断検索アクセス数について報告があり、今年度
の利用条件一覧の確認が行われた。

b. 協議事項

2014年度から利用実績統計に加えることになっていた貸出冊数が漏れていた件に
ついて、遡って加えることが確認された。電子資料の利用の範囲については継続審議して
いくことが確認された。また、世田谷6大学の図書館相互利用専門委員会の次期委員長校
について確認が行われた。

B. 情報交換会

ラーニングコモンズ等の学生の学びの場で、図書館が実施できる学習支援とはどのよう
なものがあるかについて、各校の実務担当者により意見交換が行われた。

C. 講演会

講題：「図書館をつくる」

講師： 東京都市大学工学部建築学科教授 堀場弘

D. 図書館見学

E. 意見交換会

(3) 四大学図書館相互利用実績

①入館者統計 (2016. 4～2017. 3)

受入館 所属大学		学習院	成蹊	成城	武蔵	所属合計
学習院	教職員		1	3	5	132
	学生		29	70	24	
成蹊	教職員	33		4	8	85
	学生			25	15	
成城	教職員	30	0		1	106
	学生		73		2	
武蔵	教職員	138	5	5		220
	学生		38	34		
小計	教職員	201	6	12	14	543
	学生		140	129	41	
受入合計		201	146	141	55	543

* 学習院大学は2005年度から入館システムを変更した。

このため教職員・学生の区別が不可能となった。

②貸出統計 (2016. 4～2017. 3)

受入館 所属大学		学習院	成蹊	成城	武蔵	合計
学習院	登録者数		6	11	14	31
	貸出冊数		16	32	24	72
成蹊	登録者数	5		4	7	16
	貸出冊数	41		9	22	72
成城	登録者数	9	5		3	17
	貸出冊数	17	13		5	35
武蔵	登録者数	28	9	8		45
	貸出冊数	125	26	26		177
合計	登録者数	42	20	23	24	109
	貸出冊数	183	55	67	51	356

(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績

①入館者統計 (2016.4～2017.3)

入館者数(貸出冊数)

所属大学	受入館			国士館大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			東京都市大学へ			東京農業大学へ			利用者数 合計		
	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生			
国士館大学から				4 (2)	0 (0)	12 (6)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	17 (0)	158 (10)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	4 (2)	25 (2)	162 (10)	16 (8)			
				計 16 (8)			計 4 (0)			計 175 (10)		計 0 (0)			計 8 (2)			計 203 (20)						
駒澤大学から	1 (0)	10 (12)	95 (24)				0 (0)	8 (8)	18 (0)	24 (1)	21 (2)		0 (0)	1 (0)	14 (14)	2 (0)	0 (0)	8 (3)	27 (1)	40 (22)	135 (41)			
	計 106 (36)						計 26 (8)			計 45 (3)		計 15 (14)			計 10 (3)			計 202 (64)						
昭和女子大学から	1 (0)	0 (0)	18 (11)	6 (4)	3 (7)	24 (32)				1 (0)	17 (13)		0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (20)	8 (4)	20 (20)	57 (63)			
	計 19 (11)			計 33 (43)						計 18 (13)		計 4 (0)			計 11 (20)			計 85 (87)						
成城大学から	0 (0)	2 (2)	30 (15)	0 (0)	1 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (0)				0 (0)	0 (0)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (7)	49 (28)			
	計 32 (17)			計 5 (9)			計 2 (0)						計 13 (9)			計 0 (0)			計 52 (35)					
東京都市大学から	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	13 (0)					0 (0)	0 (0)	2 (6)	0 (0)	14 (0)	12 (9)			
	計 2 (2)			計 3 (1)			計 6 (0)			計 13 (0)		計 2 (6)				計 26 (9)								
東京農業大学から	0 (0)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	7 (4)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	19 (0)		0 (0)	0 (0)	4 (0)				8 (4)	19 (0)	13 (2)			
	計 5 (1)			計 1 (1)			計 10 (4)			計 20 (0)		計 4 (0)			計 40 (6)									
受入数 合計	2 (0)	12 (14)	150 (53)	10 (6)	4 (12)	44 (44)	9 (4)	11 (8)	28 (0)	43 (1)	228 (25)		0 (0)	1 (0)	35 (23)	4 (0)	2 (0)	25 (31)	68 (11)	258 (59)	307 (151)			
	計 164 (67)			計 58 (62)			計 48 (12)			計 271 (26)		計 36 (23)			計 31 (31)			計 633 (221)						

※1 成城大学は、院生と学部生の区別はしていない。

②利用証（貸出登録）発行数（2016.4～2017.3）

発行先 発行館	国士館大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			東京都市大学へ			東京農業大学へ			発行数 合計
	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	
国士館大学より				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
駒澤大学より	1	0	3				1	3	12	0	1	4	0	0	2	0	0	1	28
昭和女子大学より	0	0	0	0	1	0				0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
成城大学より	1	2	4	2	0	2	0	1	2				0	0	0	0	0	0	14
東京都市大学より	0	0	0	0	0	7	1	0	1	0	0	4				0	0	2	15
東京農業大学より	1	1	2	1	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0	1				15
身分別登録者数	3	3	9	3	1	13	2	4	20	0	1	8	0	0	3	2	0	3	
登録者 合計	15			17			26			9			3			5			75

※1 発行館＝受入館として利用証（貸出登録）を発行した館

※2 国士館大学図書館・情報メディアセンターは、利用証を発行しないで貸出を実施。

Ⅱ 2016年度の委員会報告

1 図書館委員会報告

■第1回■ 2016年5月24日（火）

<報告事項>

2015年度業務概要／2015年度図書館決算報告／2016年度予算と事業概要について／世田谷区民（在勤者を含む）による図書館の利用について／2016年度新入生ガイダンスについて／前期中のガイダンスについて／2016年度の臨時開館について／その他、①五大学図書館の文献複写に関する申し合わせについて、②AP補助金の申請について、③選書ツアーについて、④夏季休暇期間中の高校生による図書館利用について

<審議事項>

「大学共通図書費に関する合意事項」（案）について／2016年度学習図書費の配分（案）について／2016年度大学共通図書費（案）について／パソコン等のマニュアル資料の除籍について

■第2回■ 2016年7月19日（火）

<報告事項> 2016年度夏季休暇前後の図書館スケジュールについて／2015年度の四大学、世田谷6大学相互利用実績について／次年度に向けた雑誌のリニューアルについて／その他、①前期中の各種ガイダンス報告（入庫ガイダンス、Microsoft Office 講習会、日経新聞の読み方ガイダンス）、②上映会「成城放課後シアター」について、③図書館非公式Twitter、Facebookの運用について、④図書館WebサイトおよびOPACのURL変更について

<審議事項>

2017年度事業計画（予算）案について

<その他>

雑誌の配架に関する要望について

■第3回■ 2016年10月18日（火）

<報告事項>

夏季休暇中に実施された工事等について／大学共通図書費、学習図書費の執行状況について／2017年度の世田谷区民による図書館利用について／今後のスケジュール等について

<審議事項>

2017年度図書館概算要求案について／学習図書費による電子ブックの購入について

<その他>

ピアチューターについて

■第4回■ 2017年2月16日（木）

<報告事項>

2017年度図書館予算、事業計画について／2016年度学習図書費・共通図書費の執行状況について／2016年度貸倉庫預入作業について／2016年度臨時開館の入館者数について／2017年度雑誌定期継続購入の新規・中止リストについて／図書館ホームページ旧URLの不適切使用に

ついて／その他、①2017年度入学予定者の図書館利用について、②シラバスコーナーの取り扱いについて、③四大学図書館相互利用（訪問利用）について、④私立大学図書館協会役員校について
<審議事項>
重複資料の除籍について

2 運営会報告

■第1回■ 2016年4月12日（火）

交換留学生のコピーカード利用について／プレハブの資料について／コーナー化について／図書館活用法について／今年度の運営会と課長・課長補佐会について

■第2回■ 2016年4月20日（水）

世田谷区民の利用について／五大学懇談会の日程について／企画広報委員会活動について／入試広報部からの依頼について／B2Fドライエリアの美術品について／空調工事について／リポジトリについて／複本チェックについて／2014年度年報について

■第3回■ 2016年5月18日（水）

AP委員会について／MNC委員会について／進学相談会について／部局長会議での報告事項について／図書館活用法の就職活動による欠席の扱いについて／研修・分科会などについて／インターシップの受け入れについて／SNSWGについて／第1回図書館委員会について／学長よりのアンケート調査について

■第4回■ 2016年6月1日（水）

第2回評議会と学年暦等の臨時検討部会について／部局長会議での報告事項について／AVゾーンの改修について／私大図協の業務について／著作権講習会と私大図協全国総会・研究大会について

■第5回■ 2016年6月29日（水）

第6回部局長会議での報告事項について／文学研究科院生懇談会における要望について／AVゾーンの改修について／第2回図書館委員会（7月19日）について／システム改修について

■第6回■ 2016年7月13日（水）

臨時開館時の学生食事場所について／OPAC端末について／今後の館内展示について／部局長会議での報告事項について／私大図協の地域研修について／SNSのガイドラインについて／上映会について／第2回図書館委員会について

■第7回■ 2016年10月4日（火）

部局長会議での報告事項について／10月からの業務について／図書館活用法について／ライブラリーサポーターについて／ピアチューターについて／五大学、世田谷6大学について／予算申請について／私図協のスケジュールについて

■第8回■ 2016年10月14日（火）

私図協のスケジュールについて／予算ヒアリングについて／五大学図書館懇談会について／第3回図書館委員会について／来年度予算について

■第9回■ 2016年11月30日（水）

館内での催しについて／情報サービス課の今年度中実施予定業務について／全体の業務について
／今後の日程について／私図協の業務について

■第10回■ 2017年1月18日（水）

業務全般について／部局長会議での報告事項について／私図協の業務について／プレハブ資料の
処理について

■第11回■ 2017年2月15日（水）

「校舎等整備検討ワーキンググループ」について／プレハブ資料について／工事等について／来年
度予算の執行などについて／第4回図書館委員会について／学事暦等が変更された場合の業務へ
の影響について

■第12回■ 2017年3月22日（水）

世田谷区民の利用について／来年度の体制について／「校舎等整備検討ワーキンググループ」に
ついて／来年度予算の執行などについて

3 課長・課長補佐会報告

■第1回■ 2016年4月28日(木)、5月12日(木)

【全般】Web 勤怠システムについて／日本図書館協会調査について／AP 補助金について（経過報告）／2017年4月の全学オリエンテーションについて（経過報告）／募金箱（熊本地震災害義援金）の設置について

【情報管理課】印刷製本費について／資料関係予算について

【情報サービス課】傷みの酷い資料等の利用について／貴重書の運用について／メールアドレスのE-Cats への登録について／世田谷区民利用について

【企画広報委員会】選書ツアーについて／今年度のLSの活動とビブリオバトルの開催について／利用ガイド（外部用）の作成について

【図書館ガイダンス委員会】B3F入庫ガイダンスについて／レポート作成ガイダンス（Word、Excel、PowerPoint 等）について

【コーナー化検討WG】文庫新書コーナーについて／キャリア支援コーナーについて

【SNS 検討WG】学園企画広報課および大学内で開設している部署からの情報収集について（報告）／非公開でのTwitter、Facebook のサンプルページ作成について（経過報告）

【その他】ホームページの更新について／リプレイスとネットワーク統合について／文学研究科からの返却資料について／「紀伊國屋書店」「書物復権の会」主催のセミナーについて／LSの会議室使用について

■第2回■ 2016年5月26日(木)

【全般】図書館年報2014、2013、2012年度版について／紀伊國屋セミナー参加者（5名）について／大学図書館職員短期研修について／第1回図書館委員会報告／戸部学長との懇談会用資料について／ガイダンス、選書ツアー参加者への対応について

【情報管理課】アルバイト職員（庶務・雑誌）の作業について／文学研究科からの資料返却（含む除籍処理）について／AV資料の整理方法について

【情報サービス課】AVゾーン改修について／ハラスメント防止委員会、バリアフリー実施委員会等の報告

【コーナー化検討WG】文春文庫約120冊の文庫コーナーへの追加について／キャリア支援コーナーへの資料の移動について／ガイドブックコーナーについて（現状報告）

【SNS 検討WG】他大学の状況、実施の方向性について

■第3回■ 2016年6月30日(木)

【情報管理課】AV資料の整理方法について／マイクロ資料のNIIへの登録について

【情報サービス課】AVゾーン等の改修計画について／ハラスメント防止委員会報告

【資料選定委員会】ガイドブックコーナーについて

【システム委員会】システムリプレイスについて

【SNS 検討WG】成城大学図書館Twitter、Facebook についてのガイドライン（案）について

【その他】納会について／4号館（旧館）の名称について／夏季勤務表について／粗大ゴミ（B階段倉庫の片付け）について

■第4回■ 2016年7月29日（木）

【全般】システムリプレイスについて／成城大学図書館のTwitter、Facebookの開設について／ガイドブックコーナーについて／2017年度予算（AVゾーン改修）について／1F大型モニター（ニューズペーパーダイレクト）について

【情報管理課】AV資料の整理について／除籍処理について／雑誌室内のレイアウト変更と書庫の空調調整について

【その他】三省堂書店（学内売店）について

■第5回■ 2016年11月28日（月）

【全般】図書館年報第17号（2015年度）について／コーナー化WGからの報告／民俗学研究所のE-cats利用について

【情報管理課】情報管理課会開催について／大学紀要の除籍作業について／3号館雑誌室（委託）への業務依頼、連絡等（指示系統）について／3号館地下書庫資料（和雑誌／洋雑誌）の預け入れについて

【情報サービス課】今年度中の実施業務（貸倉庫預け入れ、蔵書点検、B2F資料の移動）について

■第6回■ 2017年1月31日（火）

【全般】シラバスコーナーについて／文庫新書コーナーの取り扱いについて／原簿への金額入力作業について／プレハブ書庫からの資料搬入（案）について／第4図書館委員会について／学長裁量経費による展示ケースの購入について／2017年度予算の先行実施について（スケジュール確認）／2～3月の工事について

【情報管理課】短期保存雑誌の廃棄作業について／修理製本、消耗品費、委託費等の執行状況（残高確認）について／蔵書点検の実施

【情報サービス課】春季休講期間中の合格者による図書館利用について／2017年度の世田谷区民による図書館利用について

【その他】旧URLについて

■第7回■ 2017年3月21日（火）

【全般】2017年度の委員会、担当者等について（最終的には運営会で決定）／4月以降の体制について（最終的には運営会で決定）

【情報管理課】短期保存雑誌の取り扱いについて／プレハブから搬入した資料の状況について

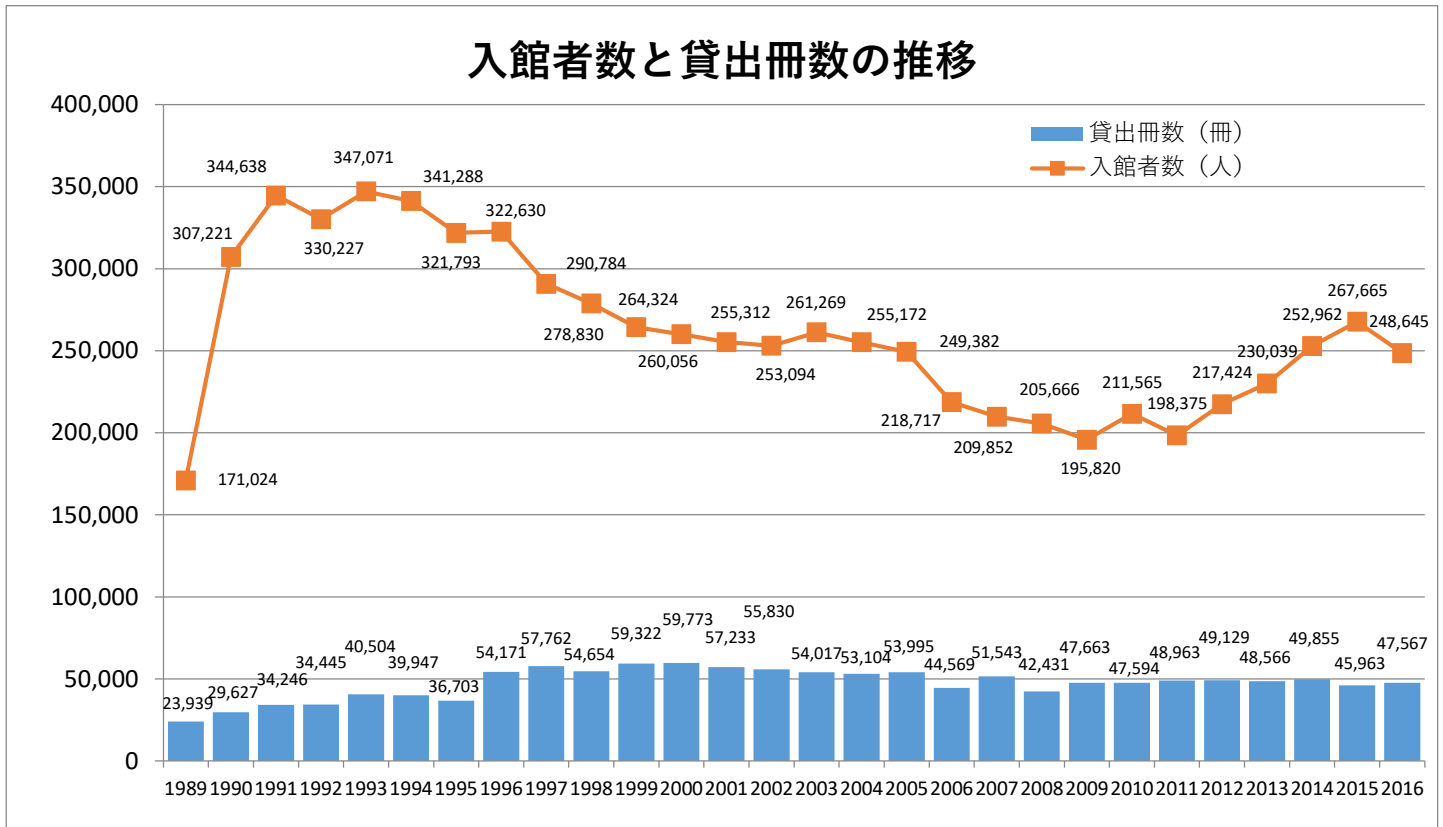
【情報サービス課】レシートプリンタの運用について／卒業論文の返還業務について／導入状況について（進捗状況の確認）／2017年4月以降のサービス変更について／ILL無料の点数について／シラバス図書掲載について

【その他】ピアサポーター制度の進捗状況について／新入生図書館ガイダンスについて／PC等の廃棄について／校舎検討WGについて

Ⅲ 2016年度の図書館年次統計

1 現況

(1) 利用状況



(2) 所蔵資料数

○図書	749,488 冊	(2016 年度増加数	11,295 冊、	除籍数 1,403 冊)
○雑誌 (B N、合冊製本)	145,278 冊	(2016 年度増加数	1,795 冊、	除籍数 30 冊)
○A V 資料		(2016 年度増加数		
C D	23,265 枚	(2016 年度増加数	173 枚、	除籍数 0 枚)
L D	5,062 枚	(2016 年度増加数	0 枚、	除籍数 0 枚)
ビデオ	6,768 巻	(2016 年度増加数	0 巻、	除籍数 0 巻)
DVD/Blu-ray	15,117 枚	(2016 年度増加数	451 枚、	除籍数 0 枚)
レコード	7,988 枚	(2016 年度増加数	0 枚、	除籍数 0 枚)
カセット	1,534 本	(2016 年度増加数	0 本、	除籍数 0 本)
○特殊資料		(2016 年度増加数		
CD(DVD)-ROM 等	2,797 点	(2016 年度増加数	122 点、	除籍数 0 点)
マイクロ資料	29,307 点	(2016 年度増加数	127 点、	除籍数 0 点)

※図書は電子ブックを含む

(3) 電子情報資源種類数

(2016)

	和	洋	合計
電子ジャーナル (タイトル数)	59	18,743	18,802
電子ブック (タイトル数)	387	338	725
データベース (パッケージ数)	22	20	42

(4) リポジトリ登録件数

(2016)

	件数
紀要論文	3,645
研究報告書	81
学位論文(博士)	4
図書館年報	3
合計	3,733

(5) 雑誌所蔵種類数

(2016)

	和雑誌	洋雑誌	合計
雑誌	3,583	2,400	5,983
大学紀要	2,861	42	2,903
新聞	4	5	9
合計	6,448	2,447	8,895

(6) 継続受入雑誌種類数

(2016)

	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
雑誌	600	245	845	460	15	475	1,320
大学紀要	2	1,073	1,075	0	19	19	1,094
新聞	12	2	14	7	0	7	21
合計	614	1,320	1,934	467	34	501	2,435

(7) AV・マイクロ累積タイトル数

(2016)

媒体	2015年度末 タイトル数	2016年度 増加分	合計
マイクロフィルム	325	2	327
カセットテープ	568	0	568
ビデオテープ	2,377	0	2,377
CD	22,196	107	22,655
LD		0	
DVD		290	
Blu-ray		62	
レコード	6,899	0	6,899
映画フィルム	119	0	119
スライド	66	0	66
HDD	8	1	9
フラッシュメモリー	0	0	0
CD-ROM	594	7	610
DVD-ROM		9	
フロッピー・磁気テープ	24	0	24
合計	33,176	478	33,654

*継続分を除く、新規タイトル数の累積点数。

*タイトル数については、集計開始時より媒体合算のものもあるため、過年度分の増加分合計点数についても、そのまま媒体合算集計とする。

2 受入報告

(1) 図書受入報告

A. 受入

(2016)

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	2,082	21,242,629	2,064	41,445,113	4,146	62,687,742
資産外図書	1,420	11,580,797	415	5,561,007	1,835	17,141,804
学習図書	3,925	11,804,951	468	1,593,569	4,393	13,398,520
私大助成	0	0	0	0	0	0
間接科研費 ^{*1}	-	-	-	-	-	-
寄贈	750	750,000	134	268,000	884	1,018,000
編入	18	51,593	19	38,000	37	89,593
合計	8,195	45,429,970	3,100	48,905,689	11,295	94,335,659

※1 資産外図書の冊数・金額には、電子ブックの購入分（和書221点、2,420,571円）を含む。

※2 学習図書の冊数・金額には、電子ブックの購入分（和書4点、28,512円、洋書135点、225,829円）を含む。

B. 除籍

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	104	343,803	1,063	5,611,964	1,167	5,955,767
資産外図書	29	-	93	-	122	-
学習図書	93	-	0	-	93	-
私大助成	0	0	0	0	0	0
寄贈	9	17,975	12	24,000	21	41,975
編入	0	-	0	-	0	-
合計	235	361,778	1,168	5,635,964	1,403	5,997,742

※ 2010年度までは、資産外図書、学習図書、編入の金額を表示していたが、冊数に対応する金額ではないため、2011年度より金額欄を - と表示する。

(2) 雑誌受入報告

A. 受入

(2016)

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	137	3,099,516	13	317,590	150	3,417,106
製本編入	964	1,888,272	681	1,323,864	1,645	3,212,136
私大助成	0	0	0	0	0	0
合 計	1,101	4,987,788	694	1,641,454	1,795	6,629,242

購入[資産外]	—	19,467,765	—	85,758,922	—	105,226,687
その他の編入 (発見)	0	—	0	—	0	—
その他の編入 (移管)	0	—	0	—	0	—
その他の編入 (弁償)	0	0	0	0	0	0
寄贈	20	—	21	—	0	—

B. 除籍

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	0	0	0	0	0	0
製本編入(H.4以降)	30	52,450	0	0	30	52,450
私大助成	0	0	0	0	0	0
小 計	30	52,450	0	0	30	52,450

製本編入 (H.3以前)	180	—	0	—	180	—
その他の編入 (発見)	0	—	0	—	0	—
その他の編入 (移管)	0	—	0	—	0	—
その他の編入 (弁償)	0	0	0	0	0	0
購入 [資産外]	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	—	0	—	0	—

は資産報告をしているもの

※2004度までは図書からの移管編入は除籍申請を行っていないため、除籍の移管編入の金額には入力。
2005年度より除籍して移管編入雑誌として受け入れるため金額欄は-となる。

(3) マイクロ・AV資料 受入報告

A. 受入

(2016)

媒体		資産		資産外		学習図書		寄贈	編入	合 計
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	数量	
マイクロリール		121	2,131,920	0	0	0	0	0	0	121
マイクロフィッシュ		0	0	0	0	0	0	6	0	6
マイクロリール	間接科研費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロリール	私大助成	0	0							0
マイクロフィッシュ	私大助成	0	0							0
小計		121	2,131,920	0	0	0	0	6	0	127
CD-ROM	私大助成	0	0							0
DVD-ROM	私大助成	0	0							0
HDD		1	486,000							1
CD		0	0	9	14,277	164	298,543	0	0	173
カセット		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
LD		0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD		0	0	52	452,597	319	4,425,204	4	0	375
Blu-ray		0	0	0	0	76	651,100	0	0	76
レコード		0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィルム		0	0	0	0	0	0	0	0	0
スライド		0	0	0	0	0	0	0	0	0
CD-ROM		0	0	39	1,274,753	0	0	5	0	44
DVD-ROM		73	854,452	3	645,840	1	16,200	0	0	77
小計		74	1,340,452	103	2,387,467	560	5,391,047	9	0	746
合計		195	3,472,372	103	2,387,467	560	5,391,047	15	0	873

B. 除籍

※ 2016年度はAV資料の除籍を行わなかった。

(4) 学習図書年度別受入一覧

(2016)

年度	和書 (冊数)	洋書 (冊数)	図書合計	雑誌 (冊数)	AV資料 (点数)	マイクロ資料 (リール・箱)
1983	4,222	40	4,262	23	6	0
1984	6,220	226	6,446	28	10	578
1985	6,814	129	6,943	44	190	882
1986	7,170	273	7,443	95	332	851
1987	6,499	857	7,356	48	333	792
1988	5,298	134	5,432	0	505	717
1989	4,839	219	5,058	0	607	992
1990	4,811	249	5,060	0	1,046	162
1991	5,003	289	5,292	0	1,418	217
1992	4,645	221	4,866	0	1,775	313
1993	4,971	233	5,204	0	1,318	508
1994	4,705	179	4,884	0	1,015	199
1995	4,473	149	4,622	0	1,277	130
1996	5,515	120	5,635	0	1,424	57
1997	5,247	204	5,451	0	1,237	64
1998	4,832	116	4,948	0	1,472	81
1999	4,953	192	5,145	0	1,613	70
2000	4,543	185	4,728	0	1,705	86
2001	4,387	153	4,540	0	1,882	140
2002	4,984	184	5,168	0	1,685	136
2003	4,623	248	4,871	0	2,017	72
2004	4,049	329	4,378	0	1,988	81
2005	3,843	649	4,492	0	2,469	91
2006	3,907	306	4,213	0	1,892	129
2007	4,497	152	4,649	0	1,159	347
2008	4,481	270	4,751	0	1,567	193
2009	4,982	223	5,205	0	1,648	131
2010	5,089	216	5,305	0	1,344	94
2011	5,183	158	5,341	0	1,136	72
2012	5,275	595	5,870	0	950	69
2013	4,300	1,229	5,529	0	747	74
2014	4,143	814	4,957	0	751	9
2015	4,230	164	4,394	0	666	0
2016	3,925	468	4,393	0	560	0
合計	166,658	10,173	176,831	238	39,744	8,337

毎年全学生から学習図書整備費として特別に徴収された資金により、学生の勉学に必要と思われる資料を選定し購入
電子ブックの購入分(和書4点、28,512円、洋書135点、225,829円)を含む

3 整理業務統計

(1) 図書整理冊数

(2016)

	和 書	洋 書	小 計
新規	8,279	2,712	10,991
再整理	3,768	27	3,795
遡及（内部）	0	473	473
遡及（外注）	0	0	0
合計	12,047	3,212	15,259

(2) 修士論文整理冊数

(2016)

	専 攻	件 数	冊 数
経済学研究科	経済学／経営学	2	2
文学研究科	国文学	3	3
	英文学	2	2
	日本常民文化	5	5
	美学・美術史	7	8
	コミュニケーション学	0	0
	ヨーロッパ文化	2	2
法学研究科	法律学	0	0
社会イノベーション研究科	社会イノベーション学	5	5
合計		26	27

(3) 博士論文整理冊数

(2016)

	今年度		累 計	
	件 数	冊 数	件 数	冊 数
経済学	1	1	6	6
文学	1	1	36	44
法学	0	0	8	8
社会イノベーション学	0	0	2	2
合計	2	2	52	60

(4) AV・マイクロ点数

(2016)

	映像資料	録音資料	電子資料	マイクロ資料	合 計
新規	623	325	132	163	1,243
遡及（内部）	23	902	4	0	929
合計	646	1,227	136	163	2,172

映像資料 : DVD, Blu-ray, LD, ビデオ, スライド, フィルム
 録音資料 : CD, カセット, レコード
 電子資料 : DVD-ROM, CD-ROM
 マイクロ資料 : マイクロフィッシュ, マイクロフィルム

4 運用業務統計

(1) 入館者統計

(2016)

	開館 日数	学 生	教 職 員	中 学 生	高 校 生	学習院		成 蹊		武 蔵		国士館		駒澤		昭和女子		東京農業		東京都市		学 外 者	合 計
						教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生		
4月	25	23,280	787	0	2	0	1	0	1	0	1	2	8	2	0	0	0	0	0	0	1	412	24,497
5月	23	22,853	918	0	23	1	9	0	0	0	2	1	18	3	3	1	0	0	0	0	0	682	24,514
6月	26	26,732	983	5	10	0	13	2	1	0	5	1	14	5	1	0	4	0	1	0	2	726	28,505
7月	28	43,319	924	0	0	0	3	0	4	1	3	0	11	3	0	0	2	0	3	0	1	497	44,771
8月	16	2,079	269	0	0	0	5	0	0	0	2	4	3	0	0	0	0	0	2	0	1	257	2,622
9月	23	11,923	589	0	3	0	8	0	1	0	0	0	4	4	5	0	3	0	1	0	2	339	12,882
10月	26	22,567	910	0	33	1	8	2	0	1	5	0	11	5	6	0	3	0	0	0	1	664	24,217
11月	23	22,589	716	2	10	0	7	0	2	2	4	1	13	0	2	0	0	0	0	0	2	518	23,868
12月	23	24,048	717	0	23	1	9	0	0	0	5	5	26	1	3	0	2	1	6	0	2	400	25,249
1月	23	29,775	639	0	0	0	0	0	12	0	4	2	20	0	1	0	0	0	4	0	1	180	30,638
2月	19	2,691	369	0	0	0	6	0	1	1	3	1	16	1	0	0	0	0	2	0	0	208	3,299
3月	25	2,847	442	0	0	0	1	0	3	0	0	0	14	0	0	0	3	0	0	0	0	273	3,583
合 計	280	234,703	8,263	7	104	3	70	4	25	5	34	17	158	24	21	1	17	1	19	0	13	5,156	248,645

(2) 月別図書貸出統計

(2016)

図書館配架区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開架室	3F	854	1,107	1,509	2,540	412	1,008	1,486	1,779	1,841	1,845	264	214	14,859
	3F大型本	4	8	4	4	0	1	4	4	5	10	1	0	45
	3Fガイドブック	91	190	141	183	63	79	164	172	113	145	50	39	1,430
	2F	1,204	1,496	1,799	2,773	508	1,260	1,907	2,359	2,102	1,959	424	274	18,065
	2F大型本	4	19	33	21	3	5	27	23	40	24	3	1	203
	シラバスコーナー(2F)	88	111	119	183	36	82	99	120	131	162	19	0	1,150
	文庫コーナー(1F)	80	142	158	180	53	111	211	210	201	145	29	38	1,558
	新書コーナー(1F)	46	55	143	275	57	57	154	189	185	118	47	47	1,373
	キャリアコーナー(1F)	0	13	35	62	15	22	40	30	44	50	40	12	363
	B2F	35	51	51	42	10	33	31	47	62	44	14	8	428
	B2F英語多読コーナー	441	309	280	212	55	182	364	297	202	147	51	25	2,565
閉架室	貴重書室	0	5	14	20	4	0	0	3	4	4	0	0	54
	B3F	296	370	460	527	157	339	481	580	554	416	379	308	4,867
	B3F大型本	9	7	12	3	3	11	14	9	8	4	3	2	85
	B3F文庫新書	1	2	4	4	2	2	2	5	3	1	1	1	28
	B3F貴重書	0	0	0	0	2	0	34	54	0	1	0	1	92
	旧館1層	5	7	16	17	3	20	27	11	35	21	9	13	184
	旧館1層大型本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旧館3層	6	1	5	17	2	6	10	4	7	6	1	3	68
	旧館5層	9	4	1	1	0	2	2	1	0	2	3	3	28
	旧館6層	0	1	1	1	3	3	0	0	0	1	0	1	11
	貸倉庫	6	10	9	11	0	9	27	19	6	5	5	4	111
合 計		3,179	3,908	4,794	7,076	1,388	3,232	5,084	5,916	5,543	5,110	1,343	994	47,567

※ 集計単位は冊数

(3) 分野別図書貸出統計

(2016)

		図書資料分野区分											計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学/工業	産業	芸術	語学	文学	その他	
学 生	学部生	692	2,548	3,312	11,249	983	786	1,615	4,497	3,890	4,600	0	34,172
	大学院生	81	296	294	1,063	89	61	91	1,011	88	467	0	3,541
	非正規生	12	22	144	95	16	9	5	69	57	69	0	498
教 職 員	大学専任教員	161	328	442	1,567	187	157	111	235	197	727	0	4,112
	大学非常勤教員	45	174	132	486	144	9	27	156	67	364	0	1,604
	その他教職員	128	210	366	529	73	45	74	255	533	397	0	2,610
四 大 学	学習院大学	0	6	4	5	0	0	0	6	1	10	0	32
	成蹊大学	0	0	0	1	0	0	0	5	3	0	0	9
	武蔵大学	0	6	1	10	0	0	0	1	6	2	0	26
6 大 学	国士舘大学	0	0	1	7	1	0	1	0	0	0	0	10
	駒澤大学	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	昭和女子大学	0	0	0	11	1	1	0	0	0	0	0	13
	東京農業大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東京都市大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	卒業生	7	22	31	114	12	12	8	15	31	156	0	408
	大学院修了者	0	6	6	19	7	0	0	19	34	34	0	125
	コミュニティーカ	12	22	30	26	10	3	2	28	1	64	0	198
	世田谷区民	0	30	23	84	13	2	12	9	14	17	0	204
	学園中学・高校生	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
小計		1,139	3,670	4,787	15,267	1,536	1,086	1,946	6,306	4,922	6,908	0	47,567
比率		2.4%	7.7%	10.1%	32.1%	3.2%	2.3%	4.1%	13.3%	10.3%	14.5%	0.0%	100.0%

※ 集計単位は冊数

(4) ベストリーダー 【年間貸出回数 上位30位まで】

(2016)

順位	書名	著者名	出版社	貸出回数
1	現代ファイナンス論：意思決定のための理論と実践 第2版	ツヴィ・ボディ, ロバート・C・マートン, デーヴィッド・L・クリートン著; 大前恵一朗訳	ピアソン 桐原	47
2	『ガリヴァー旅行記』徹底注釈 注釈篇	スウィフト[著]; 富山太佳夫訳	岩波書店	33
3	『ガリヴァー旅行記』徹底注釈 本文篇	スウィフト[著]; 富山太佳夫訳	岩波書店	24
4	幸福祈願(ちくま新書; 196. 民俗学の冒険; 1)	飯島吉晴編	筑摩書房	23
4	覚悟と生き方(ちくま新書; 199. 民俗学の冒険; 4)	岩本通弥編	筑摩書房	23
6	人生の装飾法(ちくま新書; 197. 民俗学の冒険; 2)	松崎憲三編	筑摩書房	22
7	妖怪変化(ちくま新書; 198. 民俗学の冒険; 3)	常光徹編	筑摩書房	20
8	知って役立つ民俗学：現代社会への40の扉	福田アジオ責任編集	ミネルヴァ書房	19
9	Global issues : a cross-cultural perspective	Shirley A. Fedorak	University of Toronto Press	18
9	岩波古語辞典 補訂版	大野晋[ほか]編	岩波書店	18
9	伊勢物語(新潮日本古典集成; 第2回)	渡辺実校注	新潮社	18
12	論文の教室：レポートから卒論まで 新版(NHKブックス; 1194)	戸田山和久著	NHK出版	17
12	試着室で思い出したら、本気の恋だと思う。(幻冬舎文庫; お-40-1)	尾形真理子[著]	幻冬舎	17
12	企業紐帯と業績の研究：組織間関係の理論と実証	境新一著	文眞堂	17
15	詳説日本史：日本史B 改訂版	石井進[ほか] 著	山川出版社	14
15	ミクロ経済学の力：micro economics	神取道宏著	日本評論社	14
15	ユニクロ対ZARA	齊藤孝浩著	日本経済新聞出版社	14
15	スタンダード佛和辞典 革装 増補改訂版第8刷	鈴木信太郎[ほか] 編	大修館	14
15	日本書紀 1(新編日本古典文学全集; 2)	小島憲之[ほか] 校注・訳	小学館	14
15	都市の生活リズム(都市の暮らしの民俗学 / 新谷尚紀, 岩本通弥編; 3)	新谷尚紀, 岩本通弥編	吉川弘文館	14
15	イザベラ・バードの日本紀行 下(講談社学術文庫; [1872])	イザベラ・バード[著]; 時岡敬子訳	講談社	14
22	あじわいの構造：感性化時代の美学	津上英輔著	春秋社	13
22	The official guide to the TOEFL test ; domestic ed. 4th ed.	Educational Testing Service	McGraw-Hill	13
22	Skin (Cambridge Discovery Education Interactive readers)	Caroline Shackleton and Nathan Paul Turner	Cambridge University Press	13
22	エッセンシャルIFRS 第3版	秋葉賢一著	中央経済社	13
22	Cambridge IELTS 8	University of Cambridge	Cambridge University Press	13
22	ディズニープリンセスと幸せの法則(星海社新書; 58)	荻上チキ著	星海社	13
22	火花	又吉直樹著	文藝春秋	13
22	Cambridge English IELTS 10 with answers	University of Cambridge	Cambridge University Press	13
22	1日1分レッスン!新TOEIC Test千本ノック! [1](祥伝社黄金文庫)	中村澄子著	祥伝社	13
22	くずし字用例辞典 普及版	児玉幸多編	東京堂出版	13
22	シャガール：色彩の詩人(「知の再発見」双書; 87)	ダニエル・マルシェッソー著; 田辺希久子, 村上尚子訳	創元社	13
22	フランス近代美術史の現在：ニュー・アート・ヒストリー以後の視座から	永井隆則編	三元社	13
22	教職教養 [2017年度] 1 教育原理・教育史(オープンセサミシリーズ. 教員採用試験参考書 / 1)	東京アカデミー編	ティーエーネットワーク	13

(5) 閉架書庫内図書月別利用統計

(2016)

	学生（含院生）		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合 計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	11	15	0	0	1	2	0	0	2	4	14	21
5月	53	82	0	0	1	2	0	0	8	21	62	105
6月	68	102	0	0	0	0	0	0	3	3	71	105
7月	56	93	0	0	0	0	0	0	2	10	58	103
8月	10	22	0	0	1	2	0	0	0	0	11	24
9月	36	89	1	1	0	0	0	0	0	0	37	90
10月	60	79	0	0	6	8	0	0	7	13	73	100
11月	112	161	0	0	2	2	0	0	4	5	118	168
12月	119	177	0	0	0	0	0	0	2	4	121	181
1月	35	44	0	0	1	3	0	0	4	9	40	56
2月	6	9	0	0	0	0	0	0	1	1	7	10
3月	8	35	0	0	0	0	1	1	2	11	11	47
合 計	574	908	1	1	12	19	1	1	35	81	623	1,010

※閉架書庫とはB 3 F 書庫・旧館書庫である。

※教職員・大学院生及びガイダンスを受けた学部3、4年生はB 3 F 書庫への入庫利用が可能。

(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計

(2016)

	学生（含院生）		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合 計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	7	22	1	16	0	0	0	0	2	2	10	40
5月	17	22	2	4	1	1	0	0	0	0	20	27
6月	15	15	10	11	2	2	0	0	8	13	35	41
7月	17	17	1	1	3	9	0	0	3	3	24	30
8月	2	2	2	2	1	2	0	0	2	2	7	8
9月	10	18	1	1	1	1	0	0	3	32	15	52
10月	22	41	0	0	2	2	0	0	0	0	24	43
11月	40	41	0	0	1	1	0	0	2	2	43	44
12月	31	31	0	0	0	0	0	0	1	2	32	33
1月	7	15	2	2	0	0	0	0	1	3	10	20
2月	3	3	0	0	1	6	0	0	0	0	4	9
3月	0	0	0	0	2	3	0	0	3	3	5	6
合 計	171	227	19	37	14	27	0	0	25	62	229	353

※人数＝雑誌閲覧請求者数。

※総数＝雑誌閲覧請求冊数。

※閉架書庫とはB 3 F 書庫・旧館書庫である。

※教職員・大学院生及びガイダンスを受けた学部3、4年生はB 3 F 書庫への入庫利用が可能。

(7) 貸倉庫預入資料利用統計

(2016)

資料種別		2016年度 預入箱数	2016年度 戻入箱数	2016年度末 預入箱数	2016年度 利用請求冊数
図書	和 書	0 箱	0 箱	2,760 箱	267 冊
	洋 書	205 箱	0 箱	6,459 箱	349 冊
雑誌	Times (※)	0 冊	0 冊	578 冊	0 冊
	その他	300 箱	1 箱	720 箱	1 冊
A V資料		0 箱	0 箱	301 箱	3 冊
学園関係資料		0 箱	0 箱	90 箱	0 冊
合 計		505 箱	1 箱	10,908 箱	620 冊

※記号(※)はTimes(オリジナルの大型本)で預入単位は冊数、その他は箱単位である。

※貸倉庫への預入開始は1996年度からである。

※業務利用は除く。

(8) 研究室別貸出図書統計

(2016)

研究室名		2015年度末 貸出冊数		
		和 書	洋 書	計
大学院	法 学	7	0	7
	国 文	3,796	5	3,801
	英 文	8	18	26
	日本常民文化	1,419	46	1,465
	美学美術史	224	570	794
	コミュニケーション	0	0	0
	ヨーロッパ文化	16	559	575
	社会イノベーション	0	0	0
	計	5,470	1,198	6,668
資料室等	経済共用研究室	1,708	822	2,530
	経済学部研究事務室	0	4	4
	文芸共用研究室	14,561	4,148	18,709
	文芸学部資料室	498	10	508
	法学資料室	5,780	16,757	22,537
	法学部専任教員室	16	4	20
	社イノ研究事務室	62	91	153
	体 育 科	169	13	182
	共通教育研究センター	717	20	737
	計	23,511	21,869	45,380
研究所	民俗学研究所	19	0	19
	経済研究所	6,260	7,207	13,467
	教育研究所	740	686	1,426
	計	7,019	7,893	14,912
総 計		36,000	30,960	66,960

※2010年度より、E-Catsの配架先から算出。

(9) 研究室別貸出雑誌統計

(2016)

研究室名		2016年度末 カレント雑誌貸出冊数				2016年度末 製本雑誌貸出冊数			
		和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計	和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計
大学院	法 学	2,638	0	0	2,638	1	0	0	1
	国 文	8	0	0	8	0	0	0	0
	英 文	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本常民文化	20	493	0	513	0	0	0	0
	美学美術史	0	17	0	17	0	0	0	0
	コミュニケーション	0	2	0	2	0	0	0	0
	ヨーロッパ文化	27	106	41	174	0	14	0	14
	社会イノベーション	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,693	618	41	3,352	1	14	0	15
資料室等	経済共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸学部資料室	11	0	0	11	0	0	0	0
	法学資料室	11,108	26,281	4,990	42,379	7,200	6,057	6,296	19,553
	法学部専任教員室	46	17	0	63	0	0	0	0
	社イノ研究事務室	5	0	0	5	0	0	0	0
	体 育 科	802	101	33	936	0	0	0	0
	共通教育研究センター	3	0	0	3	0	0	0	0
	計	11,975	26,399	5,023	43,397	7,200	6,057	6,296	19,553
研究所	民俗学研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済研究所	0	49	0	49	0	0	0	0
	教育研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	49	0	49	0	0	0	0
総 計		14,668	27,066	5,064	46,798	7,201	6,071	6,296	19,568

※2010年度より、E-Catsの配架先から算出

(1 0) 施設利用統計

(2016)

	研究個室	グループ学習室	プレゼンテーションルーム
4月	93	26	5
5月	111	43	15
6月	123	48	7
7月	114	162	13
8月	22	14	2
9月	57	43	11
10月	101	68	10
11月	79	67	8
12月	77	74	16
1月	61	112	11
2月	33	21	5
3月	24	2	1
合計	895	680	104

※研究個室は2Fに12室、3Fに10室ある。利用対象は大学院生と教職員。

※グループ学習室はB1Fに4室あるうち、利用申し込みが必要な3室の統計。

※プレゼンテーションルームは2F、3Fそれぞれ1室ある。

(1 1) 貴重書室利用統計

(2016)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	10 件

(1 2) 3 号館雑誌室・書庫利用統計

(2016)

	開室日数	入室者数	日平均入室者数	出納件数
4月	25	631	25	5
5月	23	704	31	9
6月	26	1,102	42	22
7月	26	1,585	61	8
8月	6	40	7	3 ※1
9月	20	513	26	6
10月	26	1,124	43	24
11月	23	1,162	51	16
12月	21	1,622	77	14 ※2
1月	19	1,614	85	9
2月	19	204	11	2
3月	25	297	12	0
合計 (平均)	259	10,598	39	118

※小数点以下を四捨五入

※1. 8/15～8/19 : 夏季一斉休暇

※2. 12/25～1/6 : 冬季休暇

(1 3) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計

7月17日 (日)	184
7月24日 (日)	386
12月11日 (日)	98
1月6日 (水)	151
1月14日 (土)	320
1月15日 (日)	276
1月22日 (日)	375

○開館時間 9 : 00 ~ 17 : 00

○2008年1月から試験対応として試験期間前または試験期間中の日曜・祝日等を対象に臨時開館を開始した。

○後期試験直前の開館は学生へのメリットが大きいと判断し、2009年度より関係部局の了解のもとでセンター試験当日の臨時開館を開始した。

○2014、2015年度は冬季休暇期間の前後1日を臨時開館日とした。

○2015年度より卒業論文対応として、12月中に臨時開館日を1日追加した。

○2016年度は冬期休暇前に替えて1月試験対応の臨時開館を1日追加した。

5 参考業務統計

図書館間相互協力

単位=件数

サービス種別		文書による調査		文献複写		閲覧願	
		2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度
受付	他大学から	55	51	551	544	26	23
	大学以外から	7	9	26	55	6	5
	国外から	0	0	20	45	0	0
	受付小計	62	60	597	644	32	28
依頼	他大学へ	77	55	334	426	60	48
	大学以外へ	2	1	43	115	2	1
	国外へ	0	0	28	63	0	0
	依頼小計	79	56	405	604	62	49
合計 受付＋依頼		141	116	1,002	1,248	94	77

サービス種別		資料貸借	
		2015年度	2016年度
受付（貸出）	他大学から	157	169
	大学以外から	14	15
	国外から	4	2
	受付（貸出）小計	175	186
依頼（借受）	他大学へ	131	289
	大学以外へ	12	15
	国外へ	3	6
	依頼（借受）小計	146	310
合計 受付＋依頼		321	496

6 AV資料等運用業務統計

(1) AV・マイクロ資料利用統計

(2016)

開室日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
種別		22	23	26	26	16	23	26	23	21	19	18	25	268日
ビジュアル資料 (NDC分類)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2件
	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2件
	2	5	15	5	0	0	0	1	2	0	1	0	0	29件
	3	0	7	10	2	0	2	0	1	0	4	0	0	26件
	4	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3件
	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1件
	6	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3件
	7 映画	709	743	880	515	76	342	693	622	580	270	58	28	5,516件
	7 その他	202	156	172	113	5	78	143	106	80	61	6	17	1,139件
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1件
	持ち込み	19	33	49	45	3	15	15	14	22	15	1	1	232件
	付属資料	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2件
	小計	937	956	1,119	677	84	438	853	746	683	351	65	47	6,956件
オーディオ資料	古典音楽	8	2	3	2	0	3	1	6	1	0	0	2	28件
	軽音楽	3	2	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	10件
	語学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	文芸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	持ち込み	3	4	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	13件
	付属資料	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2件
	小計	14	8	6	3	0	6	1	9	1	3	0	2	53件
ROM	CD/DVD-ROM	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6件
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	小計	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6件
マイクロ	新聞	15	0	0	44	0	0	4	0	2	4	4	4	77件
	その他	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	6件
	持ち込み	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	10件
	小計	15	1	0	45	1	9	4	0	2	8	4	4	93件
資料総計		966	965	1,125	725	85	459	858	755	686	362	69	53	7,108件
AVルーム利用数		20	8	10	2	0	2	7	11	11	2	1	1	75件

開架CDのオーディオソファアでの利用を除く

(2) AVホール利用統計

(2016)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
	9	7	14	27	0	0	18	15	15	4	0	0	109 件

新入生ガイダンスでの利用を除く

(3) AVゾーン利用者別統計

(2016)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年度合計
利用者	学生	1, 233	1, 073	1, 314	810	66	488	956	867	800	411	57	42	8, 117 人
	大学教員	1	90	9	7	1	1	4	3	0	0	0	4	120 人
	学園教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 人
	全学職員	1	1	1	4	7	0	0	1	0	0	0	0	15 人
	その他	4	12	16	16	6	3	11	13	7	0	5	0	93 人
合 計		1, 239	1, 176	1, 340	837	80	492	971	884	807	411	62	46	8, 345 人

(4) マイクロ資料利用者別統計

(2016)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
学生	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4 人
大学教員	0	0	0	9	1	2	0	0	1	3	1	3	20 人
学園教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 人
全学職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 人
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1 人
合 計		2	1	0	10	1	2	0	1	3	1	3	26 人

(5) 保守点検等

- ・AVゾーンおよびAVホール保守点検（2017年2月1日、2月3日）

7 図書館機械化の経緯と現状

(1) 図書館システム導入の経緯

- 1994. 9. 1 CALIS 基本システム 導入
- 1995. 12. 1 OPAC 用端末 3 台 開放
- 1995. 1. 1 洋書閲覧用カード 凍結
- 1995. 7. 30 データ遡及入力の外注開始
- 1995. 9. 26 学内 LAN 設置 (インターネット接続)
- 1995. 10. 30 学術情報センターCAT 接続完了
- 1995. 11. 1 学術情報センター接続システム 導入
- 1996. 1. 1 和書閲覧用カード 凍結
- 1996. 1. 30 ネットワーク用 OPAC 導入
- 1996. 2. 23 学術情報センターへの所蔵登録 開始
- 1996. 3. 1 ネットワーク用 OPAC 開放
- 1996. 4. 1 閲覧システム 稼働
- 1996. 4. 16 学術情報センターILL システム 参加
- 1996. 7. 1 新着図書案内 開始
- 1997. 7. 1 雑誌管理システム 一部開始
- 1998. 4. 1 蔵書点検システム 開始
- 1998. 4. 1 図書管理システム 導入
- 1999. 10. 14
 - 15 新業務サーバー データコンバートテスト
- 1999. 11. 1 新業務サーバー 稼働
- 2000. 1. 1 WebOPAC 稼働
- 2000. 3. 27 図書館ホームページ 開設
- 2000. 4. 5 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 設置
- 2000. 6. 22 図書館ネットワーク用代理サーバー 移設
- 2001. 11. 1 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 設置
- 2002. 6. 1 WebOPAC 用 PC 端末 5 台 設置
- 2002. 11. 5 情報コンセント 30 口 設置
- 2003. 6. 24 WebOPAC 用 PC 端末 2 台 設置
- 2004. 3. 25 情報コンセント 4 口・無線 LAN AP 設置
- 2004. 8. 16 新業務サーバー 稼働
 - CATP-CASE3 システム 稼働
 - WebOPAC 用 PC 端末 5 台 設置
 - VTSS 接続 廃止
 - LAT 廃止
- 2004. 10. 28 CD/DVD-ROM サーバー サービス開始
- 2005. 1. 8 利用状況照会サービス 開始
- 2005. 12. 21 CD-ROM 検索端末 2 台 置き換え
- 2006. 1. 10 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 置き換え
- 2006. 7. 11 WebOPAC 用 PC 端末 2 台 置き換え
- 2006. 8. 17 図書館 LAN の独立

2006. 9. 20 CASE3 AV システム 開始

2007. 4. 1 WebOPAC AV システム対応 サービス開始

2007. 6. 11 情報アクセス端末 10 台 設置

2007. 9. 25 3 号館雑誌室・書庫 開室
WebOPAC 用 PC 端末 3 台（雑誌室 2、書庫 1）設置

2008. 6. 5 情報アクセス端末 10 台 増設

2009. 4. 1 AV 用 OPAC→Web OPAC 用端末 5 台 置き換え

2010. 8. 16 図書館システムを NEC E-Cats Library に変更
WebOPAC 用 PC 端末 12 台 置き換え
自動貸出装置 1 台 設置

2010. 9. 24 MNC 管轄の学習用 PC 15 台 設置
MNC 管轄のオンデマンドプリンター 1 台 設置

2011. 10. 1 3 号館雑誌室・書庫 WebOpac 用 PC 端末 3 台 置き換え

2012. 8. 16 次世代 OPAC 稼働

2012. 8. 31 WebOPAC 用 PC 端末 5 台 廃止

2012. 10. 19 成城大学リポジトリ 公開

2013. 3. 18 情報アクセス端末 20 台 廃止

2013. 3. 25 MNC 管轄の学習用 PC 35 台 設置（+15 台 置き換え）

2013. 9. 14 Newspaper Direct 専用モニター 稼働

2013. 9. 21 自動 PC 貸出ロッカー 稼働（MNC 管轄の学習用 PC 20 台）

2013. 9. 21 NEC ブレインボード（タッチパネル内蔵モニター）4 台 稼働

2014. 10. 1 レファレンスカウンター情報検索端末 2 台 設置

2015. 3. 27 図書館ホームページ（Web サイト）リニューアル

2015. 6. 29 MNC 管轄の学習用 PC 8 台 設置（増設 4 台 ロッカー 4 台）

2016. 8. 16 図書館システム E-Cats Library をバージョンアップ（v. 4→v. 5）
サーバー、OPAC 端末、業務用 PC、作業用ノート PC をリプレイス
（サーバーは図書館システムサーバー 3 台、及び Web サーバー 1 台を
MNC の仮想サーバー上に構築し運用）
ネットワークを大学内ネットワークに変更

2016. 10. 31 MNC 管轄の学習用 PC 22 台 設置（本館 18 台 雑誌室 4 台）
MNC 管轄のオンデマンドプリンター 1 台 設置

2016. 後期 MNC 管轄の学習用 PC 22 台 仮設置

（２）現状

①入力蔵書データ数（2017 年 3 月 31 日現在）

和 書	503,978 冊	洋 書	315,730 冊	計	819,708 冊
和雑誌	191,877 冊	洋雑誌	90,078 冊	計	281,955 冊
和 A V	33,955 点	洋 A V	42,217 点	計	76,172 点

②図書館システムサーバー構成（MNC の仮想サーバー上に構築）

E-Cats Library : DB サーバー
 : OPAC サーバー
 : 評価環境サーバー

Web サイト : Web サーバー

③接続端末等

<利用者用端末台数>

OPAC 用 17, 情報検索用 2
サイネージ用 2, 利用者用コピー機 6 台

<業務用端末台数>

スタッフ用 40, カウンター用 7
作業用（研究室貸出を含む）6

<その他端末台数>

プリンター 8, 複合機 2

<MNC 管轄端末台数>

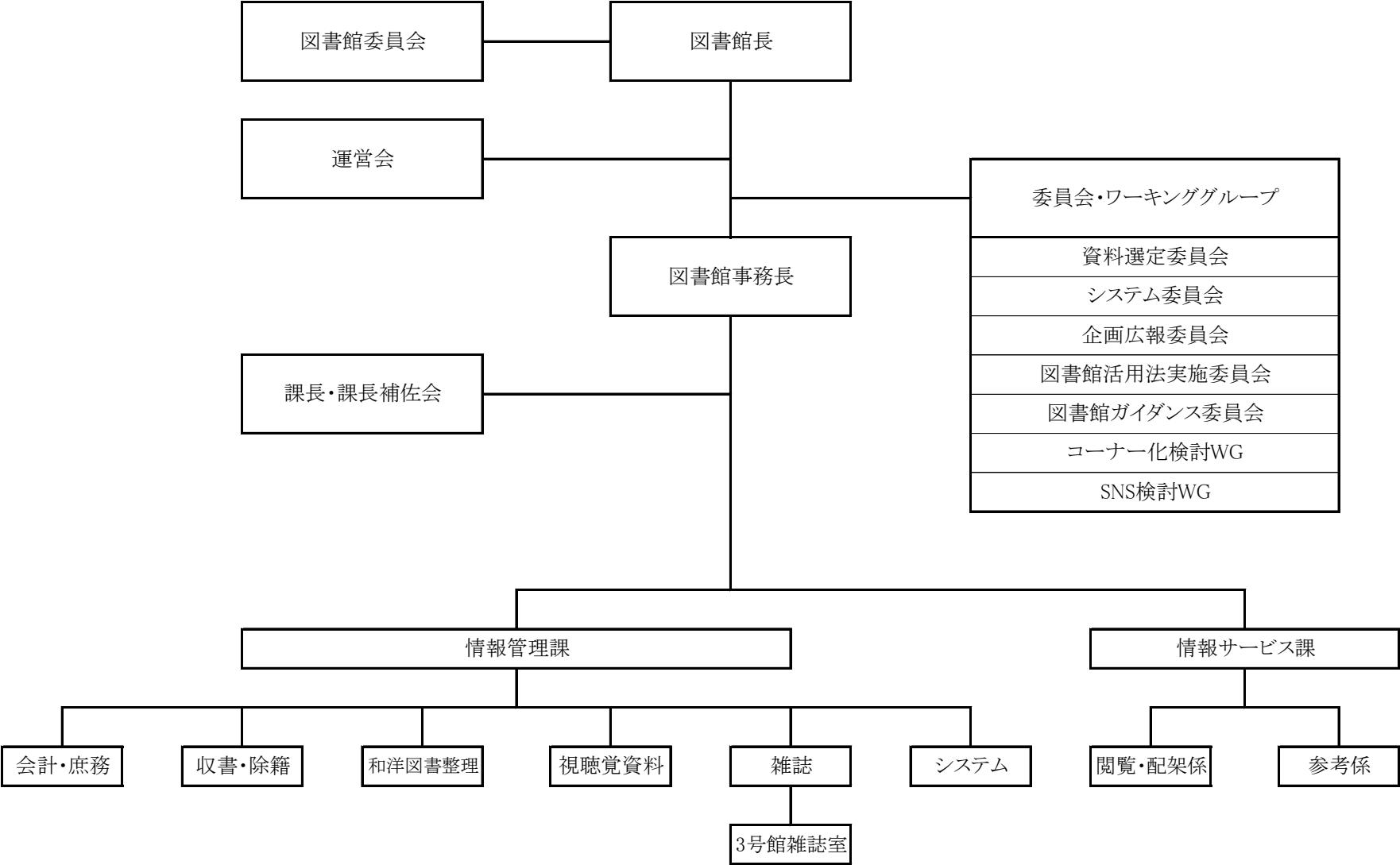
学習用 PC 118, オンデマンドプリンター2, 情報コンセント 34

<3 号館雑誌室・書庫設置端末台数>

OPAC 用 PC 3, 利用者用コピー機 2
学習用 PC 12（MNC 管轄）, オンデマンドプリンター 1
業務用 PC 4, プリンター 1, 複合機 1

IV 組織

1 組織図



(2016.4.1)

成城大学図書館年報 第18号

2016年度図書館業務報告

2018年3月31日発行

編集・発行 成城大学図書館

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

電話 03-3482-3555 (ダイヤルイン)

URL <http://www.lib.seijo.ac.jp/>

＜歴代図書館長＞

1	中野 三郎	(成城大学)	1953年4月	～	1955年3月
2	池田 勉	(文芸学部)	1955年4月	～	1965年3月
3	岡田 俊平	(経済学部)	1965年4月	～	1971年3月
4	宮崎 孝一	(文芸学部)	1971年4月	～	1975年3月
5	上野 格	(経済学部)	1975年4月	～	1979年3月
6	石川 弘義	(文芸学部)	1979年4月	～	1983年3月
7	安田 一郎	(法学部)	1983年4月	～	1987年3月
8	横川 新	(法学部)	1987年4月	～	1991年3月
9	木綿 良行	(経済学部)	1991年4月	～	1995年3月
10	毛利 三彌	(文芸学部)	1995年4月	～	1997年3月
11	木村周市朗	(経済学部)	1997年4月	～	2001年3月
12	新山 一雄	(法学部)	2001年4月	～	2005年3月
13	浅井 良夫	(経済学部)	2005年4月	～	2009年3月
14	福光 寛	(経済学部)	2009年4月	～	2011年3月
15	木畑 洋一	(法学部)	2011年4月	～	2015年3月
16	山本 輝之	(法学部)	2015年4月	～	

＜略史＞

1926年	4月	成城高等学校 創設
1927年	4月	成城高等女学校 創設
1928年	12月	「澤柳記念図書館」 竣工
1950年	4月	成城大学経済学部 成城大学理学部 開設
1952年	3月	成城大学理学部 廃止
1953年	11月	「成城学園中央図書館」と改称
1954年	4月	成城大学文芸学部 成城大学短期大学部 開設
1957年	4月	旧図書館(旧柳田文庫) 増改築 「成城大学図書館」と改称
1968年	8月	旧図書館(大学4号館) 竣工
	9月	開館
1977年	4月	成城大学法学部 開設
1989年	8月	新図書館 竣工
	11月	開館
2005年	4月	社会イノベーション学部 開設
2007年	9月	3号館雑誌室および書庫 開設
2013年	8月	アクティブラーニングのための施設改修